0022736000

0022736-000

DC435－11

独逸新四ケ年計画研究資料

日満財政経済研究会

1

1937

ADC

獨逸新四ヶ年計畫研究資料

(一)

DC435
11

国立国会
43.11.12.
国際統計室

775303

内容目次

一 獨逸新經濟四ヶ年計畫
二 獨逸ニ於ケル原料新四ヶ年計畫ノ組織
三 獨逸新四ヶ年計畫ニ關スル研究

昭和十二年三月

獨逸新經濟四ヶ年計画

日滿財政經濟研究會

昭和十二年二月

獨逸新經濟四ケ年計畫

ドイツ新四ヶ年計畫ノ要領

一、工業原料品ノ自給ヲ主眼トシ、併セテ食糧供給ノ徹底ヲ期スルモノナリ。

二、工業原料品ノウチ特ニ纖維原料品、動力原料品（燃料）及ヒ人造ゴムノ自給ヲ中心トス。

三、右原料品ノ自給ヲ主トシテ合成原料ニヨラントス。卽チ纖維原料品ハスーテープル。フアイバーノ增產ニヨリ、動力原料品ハ石炭液化ニヨリ、ゴム原料ハ人造品ブーナニヨリ、是等ノ合成原料ノ材料ハ主トシテ石炭、褐炭、木材ニ仰ク。

四、原料品自給策トシテ、短期資金ノ强制調達、政府補助金、免稅等ノ奬勵策ヲトル。

五、右計畫ハ勞働力ノ吸收ヲモ目的トシ、勞賃ノ引上ケハ困難ナルモ、物價統制ニヨリソノ騰貴ヲ妨クモノトス。

獨逸新經濟四ケ年計畫ニ就テ

ヘ意義ーナチス政權カ一九三三年ノ始メニ成立シタ際、ヒツトラー内閣ハソノ一月三十日ニ短カイ宣言ヲ以テ第一次四ケ年計畫ヲ發表シタカソレハ失業ノ撃退ト農民貧困ノ除去トヲ主眼トシタ。一九三六年ニハコノ四ケ年ヲ終リ、一應ソノ成果ヲ見タノテ、同年九月九日ヨリ十四日マテニユールンベルグニオイテ開カレタナチス全國黨大會ニオイテヒツトラーハ新タニ第二次四ケ年計畫ヲ發表シ、九月十五日ニハ計畫遂行ノタメノ一局ヲ新設シ、又十月十八日付ノ總統會テ、首相ゲーリング大將ニ、ソノ遂行上ノ全權カ賦與サレタノテアル。註(1)

新四ケ年經濟計畫ノ目的トスル所ハ、一言ニシテ盡スナラハ原料自給ノ強化テアル。食料品ノ自給ハ到底達セラルヘクモナイカラ、原料自給ニヨッテ得ラルヘキ、節約サレタル外國爲替ヲ以テ、ソレノ輸入ニ充當セントスルモノテアル。勿論國内ニテ到底生產シ得ナイ樣ナ材

料モコレヲ輸入ニ俟タネハナラヌ。斯クテ原料品ノ大工業ヲ振興スルコトニヨッテ、再軍備工作ノ一膓ノ終了ニ基ク大量ノ失業者ヲ繊維シテ使用シウルコトトモナル。尚ホ原料資源確保ノ問題ト關聯セシメテ植民地返還問題カ取上ケラレルコトハ言フマデモナイ。

註(1) 新經濟四ケ年計畫宣言ー列國政策彙報、第一三號、昭和一一、一一、pp. 94-96.

ドイツノ新四ケ年計畫ー國際經濟週報第一七卷、第四四號、昭和一一、一〇、二九、pp. 23-25.

ナチス新經濟四ケ年計畫ー國際パンフレット通信、第九七四號昭和一二、一、六、pp. 1-7

三目標ー新四ケ年計畫ニツイテハ、ソノ意義ヤ必要性カ極端ニ高調サレ居ルニ拘ラス、未タ何等ノ具体的方策カ發表サレテキナイ(註(2))併シ原料品ノ組織的自給政策ノ中心トナルモノハ大体ニオイテ、纖維原料、動力原料（燃料）及ヒ合成ゴムノ三者テアラウ。コレラハ何レモ完全ナ

ル自給ニ對スル自信カアルモノテアッテ、ヒトラー總統ノ宣言ニ「獨逸ハ四ケ年内ニ次ノ凡テノ材料、即チ何等カドイツノ能力ニヨリ、我々ノ化學及ヒ機械工業ニヨリ、及ヒ我々ノ鑛業自体ニヨリテ、生産シ得ラレル凡テノ材料ニ於テ、完全ニ外國ヨリ獨立シナケレハナラヌ。」註(3)トアルノハ大体右ノ原料ヲ中心ニシテキルモノト解サレル。

一九三六年十月二十三日ノゲーリング第一布告ノ第三章テハ、左ノ如キ實施機關ヲ設定シテキル。註(4)

1.原料及工場材料生産部（Erzeugung deutscher Roh-und Werkstoffe)
2.原料品配給部（Rohstoffverteilung)
3.勞働分配部（Arbeitseinsatz)
4.農業生産部（Landwirtschaftliche Erzeugung)
5.價格決定部（Preisbildung)
6.外國爲替部（Devisenangelegenheiten)

參考ノタメニ一九二九年以降ノドイツノ原料及ヒ半製品輸入高ヲ見

ルニ、註(5)

年度	原料及半製品輸入額 百万ライヒスマルク	輸入總額ニ對スル比率 %
一九二九年	七二〇三	三三・六
一九三〇年	五五〇八	三三・〇一
一九三一年	四四七八	五一・〇七
一九三二年	四一二二	五一・〇七
一九三三年	四二一一	五七・〇六
一九三四年	五六〇〇	五八・〇四
一九三五年	五五三三	六一・〇四
一九三六年（一—八月）	四七六二	六二・〇八
一九三五年（同）	七一八	六三・〇一

右ノ如ク原料及ヒ半製品ノ比率ハ、近年増大傾向ヲ辿リツヽアル。従ツテ凡ユル原料分野ニ亘ツテ自給策ヲ施スコトハムシロ不可能テアル。

而シテ計畫實施ノ技術的方法トシテ、ドイツ政府ハ先ツ原料自給ニ關係アル工業ニ對シ、原料生產工場ノ新設、流動資產ノ利用ヲ强制スルト共ニ、從來ノ如ク補助金ノ交付モ勿論繼續シテ行クト考ヘラレル。又今日マデ部分的ニ禁止サレテキタ新規社債ノ公募モ或ル程度マデ許可スルモノト豫想サレテキル。更ニ高價ナ國產原料ノ生產、消費ヲ促進スルタメ、最低價格ノ保證ヤ、人造纖維ノ混用强制ノ如キ政策カ一層廣範圍ニ亘ツテ實行サレルニ相違ナイ。又勞働力ト原料ノ消費統制ニツイテハ、政府ハ原料配給ヲ統制シテ、コレニヨツテ勞働時間ヲ制限スル方法ヲ執ル。註(6)

註(2)前揭列國政策彙報、第一三號P.99.國際パンフレット通信、第九七四號、P.7

註(3)列國政策彙報、第一三號、PP. 102-103.國際パンフレット通信第九七四號、P. 11. 國際經濟週報、第一七卷、第四四號、P 24.

(4)同上彙報、PP. 106-109

(5)國際經濟週報、第一七卷、第四四號、P. 24

(6)國際パンフレット通信、第九七四號、PP. 16-18. 國際經濟週報、第一七卷、第四四號、P. 24

合成代用品ノ技術的生產ニヨツテ、ソノ自給ヲ可能ナラシメウル三大合成原料ニツイテ見ルニ、

(一)纖維原料—

種別	一九三三年	一九三四年	一九三五年
人絹生產高	三〇一〇万瓩	—	五五〇〇万瓩
ステープル・フアイバー生產高	三〇〇〃	七二〇万瓩	一三六〇〃

特ニステープル・フアイバーノ増産ニ力ヲ入レ、一九三六年度ニハ、一二〇〇万瓩、一九三七年度ニハ、一四〇〇万瓩ニ増加セシメルコトヽナッテヰル。（一九三五年度ノ世界ノステープル・フアイバーノ生産高ハ、六千六百万瓩テアッタ）而シテ一九三五年度ノドイツノステープル・フアイバー純輸入量ハ八〇〇万瓩テアリ、一九三六年一—七月ノ入超ハ二七〇万瓩テ、前年同期ノ二一〇万瓩ニ比スレハ著シク減少シテヰル。斯クテ一九三七年度カラハ輸入ヲ完全ニ終熄セシメル計畫トナッテヰル。

他方消費促進策トシテハ、人絹糸及ヒステープル・フアイバーノ混用（一ベ%—二〇%）ヲ強制シテヰル。

棉花ハドイツテハ生産サレス、羊毛ノ生産高ハ國内需要ノ一割見當ニスキナイ。又大麻ハ消費高ノ九〇%マテ輸入ニ仰イテヰル。

(三)動力原料（燃料）—

一九三五年中ニドイツニオイテ内燃機關ノ燃料トシテ消費サレタガ

ソリン、ベンゾール及ヒアルコールハ約百九十二万トンニ上ル。ベンゾール及ヒアルコールノ國内生產ハ、消費總額ノ約二〇%、國内石油生產ハ約一二%テアル。從ツテ消費總額ノ約八〇%ニ當ル輸入ハ、專ラ石炭及ヒ褐炭ヨリ生產サレル合成燃料油ニヨッテ自給シナケレハナラヌ。最近三年間ノ石炭液化ハ著シク促進サレ、一九三五年中ノ液化ニヨルガソリン生產高ハ、約二〇万トンニ上ツタ。而シテコレハ一九三六年度ニハ約三〇万トンニ達スルモノト見ラレテヰル。

政府ハ國策上、一九三四年及ヒ一九三五年ニ國庫ヨリ約九百万マークヲ石油業者ニ貸與シ、生產方法ノ改善ト、試掘ノ費用ニ充テシメ、又一九三四年ニハ法律ヲ制定シテ石油開發事業ノ奬勵ヲ行ヒ、試掘ヲ奬勵シタ。又石炭液化工業ニハ免稅ノ特典ヲ與ヘテヰル。又合成石油一トン當リノ政府ノ補助カ約二百十マルクニモ上ルコトハ、困難ナ問題ヲ投ケカケテヰル。

液狀動力原料ト並ンテ特ニ重視サレテヰルノハ、瓦斯狀動力原料テ

アッテ、シユタツト瓦斯、プロパン、ブタン、メタン等カコレテアル。コレラハ凡テドイツ國産ノ原料、就中石炭類カラ採取サレル。自動車用燃料トシテコレラノ外、木性瓦斯及ヒ蒸氣カ用ヒラレル。

尙ホ鑛油輸入稅ニヨル國産收入ハ、一九三五年度テハ二億二千八百万マルクテドイツ關稅收入總額ノ約三割（二九%）ニモ相當シテヰタ。

(三)合成ゴムー

最近ニオケルドイツノゴム輸入高ハ、（單位百万ライヒス。マルク）

一九三二年	一九三三年	一九三四年	一九三五年	一九三六年（一—八月）
二〇	二二	二一	二八	二九

コノ不足量ヲ補フタメニ、合成ゴムタル「ブーナ」ノ增產カ計畫サレテヰル。卽チイー・ゲー染料會社カ、過去十ケ年ニ亘リ研究ヲ重ネタ結果、一九三四年ニコノ人造ゴム「ブーナ」ヲ、石炭、石灰石及ヒアセチリンヲ原料トシテ完成スルニ至ッタモノテ、既ニ一九三五年以

來約千五百トンノブーナ・ゴムタイヤーカ生產サレテキル。タヾ難點ハ天然ゴムニ比シコストカ高イコトテ、約五倍モスルトイハレルカ、漸次ソノ引下ケカ奏功シツヽアル。自動車タイヤーニハコノブーナカ最モ適當シテキルトセラレ、其他天然ゴムテハ到底不可能ナ新利用方法カ開拓サレテキル。今日コノブーナノ最大且ツ最重要ナ消費者ハ、陸軍ト國有鐵道テアルカ、將來コストノ低下ニ伴ツテ、他ノ方面テモ使用サセルコトトナツテキル。

(四)鐵。ニツケルー

アルサス。ローレンヲ失ツタドイツハ、必要トスル鐵鑛石ノ大部分ヲ輸入ニ仰イテキル。卽チ、一九三四年ノドイツノ鐵鑛石總使用量ハ一千六百七十万瓲テ、ソノ内約一千万瓲ヲ瑞典カラ輸入シテキル。コノ供給不足ヲ克服スルタメニ國產貧鑛ノ利用策ヲ採リ、一九三四年賽源局ノ鑛石委員會ハ、國產貧鑛二百万瓲ノ强制使用ヲ命令シタカ、結局失敗ニ終ツタ。併シソノ後、クルツプテハ新タニ貧鑛處理方法ヲ發

明シ（直接製鐵法）現ニコノ方法テ、貧鑛利用ヲ大々的ニ行ヒツヽアル。一九三五年ニ政府ハ百四十万瓲ノ強制貧鑛使用ヲ命シタノニ對シクルップ社ハソノ七分ノ一、即チ二十万瓲ヲ割當テラレ、從ツテ一ケ月一万七千瓲ノ貧鑛ヲ使用セネハナラヌコトトナツタ。

クルップ直接法ノ副產物トシテ重大ナ獲物ハニツケルテアル。ドイツカ今日消費スルニツケル量ハ、一〇〇〇瓲テアルカ、コノ内デ一〇〇瓲ハ輸入鑛石ヲ用ヒテ生產シ、殘リ九〇〇瓲ハ國產鑛石ヲクルップ會社カ精鍊シテ作ツテキル。コノ方面ニオイテモ含有量一。八%以下ノ極貧鑛ヲ處理シテ、ニツケルヲ採取スル方法カ發見サレタ。

以上ノ如クテアルカ、ソノ遂行モ容易テナイタラウ。而シテコヽニ新計畫ト開聯シテ重要ナ諸問題カ惹起シウル。即チー

(1) 勞働者ノ就業增加ノ困難ー合成原料ノコストノ高イコトハ必然的ニ生產費低下ノ問題ト結ヒツキ、極度ノ合理化ハ勞働ノ排除ヲモタラス。

(2)工業製品ノ生産費ノ増大ト輸出ノ困難。

(3)生計費ノ騰貴ー實質賃銀ノ低下（名目賃銀モ引上ケラレルコトハナイタラウ。註(7)ー社會不安ノ増大、、、等々カコレテアル。

次ニドイツノ織物原料、ゴム、石油ノ最近ノ輸入高ヲ掲ケテ參考トスル。註(8)

◎ドイツ織物原料。ゴム。石油輸入高累年表

品目＼年度	一九三六 一人月	一九三五 一人月	一九三五	一九三四	一九三三	一九三二	一九三一
羊毛其他ノ獸毛	一五四	一六二	二四八	三二八	二六六	二三六	五二二
棉花（屑棉ヲ含ム）	一七一	二〇九	三三〇	二六〇	三〇七	二九一	五三七
大麻。亞麻其他ノ麻類	五一	五八	八六	七〇	六六	五七	七〇
ゴム（彈力及バラ）	三九	二九	四六	四二	二五	二〇	三四
原油	一四	一〇	鑛油 一八一	一六六	一三五	一六七	二九四
鑛油（加工セルモノ）	一一二	九七					

鑛油中ニハコールタール油ヲ含ム。

（單位百万マルク）

註(7)一九三六年一〇月二八日夜ベルリンノスポートパラストニオイテ行ハレタゲーリングノ新四ケ年計畫ニ關スル大演說ニオイテ「斯ル大事業ヲ完成セシメントセハ、イマ我々ハ勞賃ヲ引上ケルコトハ到底テキヌ」ト言ッテキル。—列國政策彙報、第一三號（昭和一一、一一）P. 113

(8)國際經濟週報、第一七卷、第四四號、PP. 24-25

—以　上—

独逸に於ける原料新四ヶ年計画の組織

日滿財政經濟研究會

獨逸ニ於ケル原料新四ケ年計畫ノ組織（其ノ一）

日滿財政經濟研究會

原料四ケ年計畫ノ概觀

昨年九月ノニユルンベルグ黨大會ニ於イテヒツトラー總統ニ依ツテ宣言サレタ原料四ケ年計畫ハ、眞面目ニ實行サレルモノテアルカ。此ノ點ニ於イテ尙、疑問ヲ有スル人ハ、最近數ケ月ニ於ケル計畫上ノ實績ニ依ツテ示唆サル、所大ナルヘシ。

ヒツトラー總統ニ依ツテ、原料四ケ年計畫實行ノ全權ヲ附與サレタルゲーリング空相ハ、四ケ年計畫實施ニ必要ナル組織ヲ決定シ、協力者ヲ選ンタノテアル。ソシテ、經濟團体ハ、原料四ケ年計畫ノ新目的ニ奉仕スヘキ心構ヲ示スニ至ツタ。此ノ迅速ナル行動ハ、四ケ年計畫實行全權者ゲーリングノ組織ノ天分ト實行能力トヲ充分ニ示シテ居ル。此ノ事ハゲーリングハ、從來既ニ、爲替及原料委員テアツタ事及新計畫ハ、獨逸經濟政策ノ基調上矛盾スルモノテナイト云フ事實ニ依ツテ、容易ニサレタノテアル。出來ル限リ、自分ノ力タケテ、獨逸ヲ養フテ行クト云フオ

ータルキーハ、ナチス執政以來ノ目的テアツタ。

全權者ゲーリングハ、カノスポルトパラストニ於ケル演説ニ於イテ、シヤハト及ケップラー博士カ、原料自給ニ關シテ爲シタル功績ヲ認メ、之ヲ以テ、今後ニ於ケル自分ノ活動ノ出發點トシテ居ル。農業政策、物價政策及賃銀政策ニ於イテモ、根本的ナ變化ヲ試ミラレテ居ナイ。唯、今マテ違ツテ居ル所ハ、仕事ノ規模トテンポテアリ、全獨逸國民ノエネルギーヲ最高目的ノ達成ノ爲メ、統一的指導ニ依ツテ、動員シヤウト云フ不撓不屈ノ意志テアル。

◎原料新四ケ年計畫ノ目的

原料新四ケ年計畫ノ目的ハ、獨逸ノ國民經濟ヲ、獨逸ノ原料ニ依ツテ養ツテ行クト云フ事、卽原料ニ關スル限リ、外國ノ世話ニナラナイト云フ事テアル。

ベルサイユ平和條約ニ依ツテ、植民地ヲ奪ハレ、近キ將來ニ於イテ獨

逸ノ商品輸出ヲ、本質的ニ増加セシメル見込カ極メテ少ナイ現狀ニアッテ、獨逸ノ進ミ行ク唯一ノ途ハ、自助アルノミテアル。然シ乍ラ獨逸ハ何等侵略的ナ意圖ヲ持ツモノテハナク、合成原料ヲ輸出シテ、世界市場ヲ攪亂シヤウナト、云フ大ソレタ野望ヲ持ツテ居ルワケテモナイ、獨逸ハ唯、獨逸ノ原料飢饉ヲ救治シヤウト欲スルノミテアル。

獨逸ハ、新四ケ年計畫ノ實行カ如何ナル犧牲ヲ國民ニ課スルテアラウカヲ知ツテ居ルシ、又、外國ノ原料ニ對スル獨逸ノ需要ノ減少カ、外國ノ國際原料市場ニ不利ナル反作用ヲ及ホシ、ソノ結果トシテ、世界經濟ノ構造變動ヲ惹起スルニ至ルテアラウ事ヲモヨク知ツテ居ル。正規ノ商品交換ニ復歸スル事ハヨリ容易ナル途テアラウ。ゲーリング全權者ハ繰返シ、獨逸ハ、國際經濟ヨリ分離スル意圖ヲ有スルモノテナイ事ヲ強調シテ居ル。

四ケ年計畫ヲ實施スル爲メノ組織ハ、簡單ニシテ明瞭テアル。國民社會主義ノ指導原則ニ從ツテ、組織ノ最尖端ニ立ツモノハ、ヒツトラー總統ノ信賴ヲ有スル唯一人テアル。

目的ト方向トハ定メラレテ居ルカ、全權者ハ、目的ノ爲メノ手段方法ノ取捨選擇ニ於イテ、極メテ廣汎ナル自由ヲ與ヘラレテ居ル。

全權者ゲーリングハ、四ケ年計畫ヲ實施スル爲メ必要ナル一般的行政命令、及ヒ法令ヲ發布スル事カ出來ル。ゲーリングハ最高ノ政府官廳ヲモ含メテ、一切ノ官廳及ヒ黨ノ諸組織各部ニ對シテ、必要ナル指令ヲ發スル事カ出來ル。此レニ依ツテ、四ケ年計畫ノ進行ヲ妨クル樣ナ一切ノ權限爭ハ、初メカラ除カレル事ニナツタノテアル。タ、ニ、行政及廳間ニ於ケル權限爭及ヒ意見ノ爭タケテナク、行政官廳ト、黨ノ組織各部トノ間ニ於イテモ、權限爭ハ、生シ得ナイノテアル。

全權者ノ指令權ノ行使ニ依ツテ、國務大臣ノ活動カ制肘サレハシナイテアラウカト云フ國法上ノ問題ニ時間ヲツフス必要ハアルマイ。

何トナレハ、ゲーリング全權者ハ、一九三六年十月二十三日附ノ命令ニ依ツテ、行政官廳又ハ黨組織各部ノ實質的仕事ヲ排除スル意志無キ事ヲ強調シテ居ルカラテアル。關係各大臣ハ、四ケ年計畫ニ關スル基本的問題ニ就イテハ、相談ニアツカルテアラウ。此ノ爲メ、彼等ハ一種ノ「小閣議」ヲ構成スルノテアル。此ノ「小閣議」ニハ、國務次官ノラムメルス博士カ、ヒツトラー總統及帝國政府トノ聯絡ヲ保ツ爲メニ、技師ノケツプラー博士カ黨ト、其ノ分肢團体トノ聯絡ヲ保ツ爲メニ出席スル事ニナツテ居ル。

必要ナ場合ニ限リ、官廳ヲ新設スル。原則トシテ、四ケ年計畫ノ仕事ハ、既設ノ關係機關ヲ動員シテ行ハレル。卽全權者ゲーリングノ活動ハ主トシテ、國民的勢力ヲ動員シ、之ヲ統一的ニ指導スルト云フ事ニアル。

ゲーリング總統ノ下ニ、次ノ六部ヲ置ク。

(1)獨逸自然原料及合成原料部
(2)原料配給（分）部
(3)勞働部
(4)農產物部
(5)價格部
(6)爲替部

以上列擧シタタケテモ、原料四ケ年計畫ノ規模カ如何ニ廣大ナモノテアルカヲ示シテ居ル。夫ハ經濟政策、社會政策ノ總テノ領域ニ關係シテ居リ、獨逸國民經濟ノ實質的基礎ニ觸レテ居ルノテアル。

◎原料經濟

新四ケ年計畫ノ中心ヲ爲スモノハ、原料經濟テアル。ソレハ又、全活動ノ出發點ヲモ爲シテ居ル。ヒツトラー總統ノ言葉ヲ用フレハ、獨逸ノ能力、獨逸ノ化學、獨逸ノ機械工業、獨逸ノ鑛山ニ依ツテ作リ得ラレル

一切ノ原料ヲ獨逸テ生產シ、外國ノ世話ニナラナイト云フノカ、四ケ年計畫ノ中心課題テアル。

此ノ爲ニハ例ヘハ、既存ノ原料資源ヲヨリ强力ニ利用スル事ニ依リ、又ハ新ナル原料資源ヲ開發スル事ニ依ツテ、自然原料ノ生產ヲ增加シナケレハナラナイ。或ハ又、重要原料ヲ比較的重要テナイ使用目的ニ使用スル事ヲ禁止シナケレハナラナイー例ヘハ、天然ゴムノ使用ニ關スル最近ノ禁止命令ノ如キ。

最後ニ合成原料ヲ生產シナケレハナラナイ。合成原料ノ中最モ重要ナノハ、ベンジン、鑛物性油、ゴム、ステープルフアイバー（Zellwolle）テアル。以上、合成原料ヲ生產スル爲メノ基本的自然原料ハ、石炭（褐炭）及木材テアル。合成原料生產ノ爲メノ工場ハ既ニ建設サレ現在擴張新設サレツヽアル。

一八三八年ノ春迄ニハ、燃料自給ハ完成スルト云フ。

以上ノ諸目的ヲ達成スル爲メニ、獨逸原料部（Amt für deutsche

Roh-und werkstoffe）ヲ設ケル。獨逸原料部ハ、又研究事業及鑛物性油經濟ノ發展ヲ促進シナケレハナラナイ。

新生產物ノ立地ヲ選定スル場合ニハ Reichsstelle für Raumordnung ノ意見ヲ徵スル。

獨逸原料部ノ部長ハ、レープ少佐（Löb）テアル。彼ハ從前ハ、ゲーリング首相ノ下ニ原料及爲替部ノ部長テアッタ。

技師ノケツプラー博士（Dr-Ing. Keppler）ハ、工業用脂肪ー獨逸原料經濟ニ於ケル最大缺陷ノ一ツーノ生產ヲ計畫シ、促進シ、地質調查ノ組織ヲ定メル。ケツプラー博士ハ尙、原料問題ニ關シ、ゲーリング全權者ノ顧問テアル。

原料配給部ノ部長ハ、バーデンノ首相タルケーラー（Köhler）テアル。ケーラーハ經濟省及爲替部ト協力シテ原料ヲ各種ノ使用目的ニ配分スル。彼ハ又、外國原料ノ輸入ニ關聯セル問題ニ就イテモ、權限ヲ有スル。

主ナ問題ハ、勿論、建設計畫ヲ如何ニシテ賄ツテ行クカト云フ Finanzierung ノ問題テアル。獨逸ノ一般民衆ハ、此ノ點ニ關シ、當局カ、如何ナル意圖ヲイタイテ居ルカヲ知ラナイ。ゲーリング全權者ノ組織命令ハ唯、金融問題ハ、大藏省及經濟省ト協力シテ、解決サレナケレハナラナイト述ヘテ居ルタケテアル。

工業生產品ハカリテナク、農產品モ亦、四ケ年計畫ノ埒內ニ入リ來ル。此ノ點ニ關シテハ、脂肪性植物、及纖維性植物ノ栽培、養羊又ハ外國產飼料ノ利用ヲ考ヘレハ、充分テアラウ。

農產物部ノ部長ハ食糧省次官ノパッケ（Backe）テアル。

此等ノ原料供給ト直接關聯シテ居ル問題ノ外ニ、一般的ナ榮養狀態ハ勞働力、勞働ノ喜ヒヲ維持シ、大事業ヲ成功ニ導ク上ニ、決定的ニ重要テアル。

獨逸ノ食糧自給ハ國食糧團体ノ一様ナ生產政策ノ下ニ、喜フヘキ進步ヲ示シテ居ル。パン、麥粉、馬鈴薯、牛乳、バタ—ニ於テ、獨逸ハ、既

ニ自給ノ域ニ達シテ居ル。　魚類ニ於テハ、輸入ノ割合ハ少ク、酪農業産物及卵ニ於テハ、輸入ノ割合ハ、幾分高ク、脂肪ニ於テ比較的高イ。

原料工業ノ新設ハ、勞働供給ニ、著シイ影響ヲ及ホステアラウ。ヒツトラー總統ハ、ニユルンベルグ黨大會ノ演說ニ於テ、獨逸再軍備工作ノ終息ニ依ツテ解放サルヘキ勞働力カ原料工業ニ職場ヲ見出ステアラウ事ヲ述ヘテ居ル。

第一ニ、熟練勞働者ニ對スル需要カ增大スルテアラウ事ハ、必至テアル。熟練勞働者ハ、今日既ニ、不足ヲ告ケテ居ル。最近職業紹介及失業者救濟事業全國總裁カ從來ノ職業紹介統計カラ一步ヲ進メテ、勞働補給統計ヲ作製スルニ至ツタ事ハ、注目ニ値スル。

一九三六年十月九日附命令ニ依リ、今後完全就業可能ノ熟練勞働者、非熟練勞働者及ヒ非完全就業可能ノ勞働者トヲ分チ、完全就業可能ノ勞働力ニアツテハ、地域的移動能力ノ有無ヲ區別スル事ニナツタ。

此ノ就業能力ノ有無ニ依ル失業人口ノ分類ハ、勞働帳統計ノ整備ト相俟ッテ、國民經濟的見地ニ依ル勞働補給ノ計畫的統制ニ對シテ、ヨリ良キ前提ヲ作ルテアラウ。

四ケ年計畫ト、勞働補給トノ接觸點ハ、既存勞働力ヲ國民經濟上ノ重要性ニ應シテ、夫々ノ勞働部門ニ配分スル事テアル。例ヘハ全權者ゲーリングハ例ノ演說ニ於テ既存勞働力ハ先ッ第一番ニ、軍需工業、次キニ原料工業、最後ニ内地植民ノ爲メノ住宅建設ノ需要ヲ充サネハナラナイト述ヘテ居ル。

勞働供給部ノ專門委員ハ勞働省ノマンスフエルト博士（Dr Mansfeld）及シルーブ博士（Dr Syrup）テアル。

原料四ケ年計畫遂行上ノ一大難關ハ、價格形成ノ領域ニ横ッテ居ル。衆知ノ如ク、合成原料ハ、自然原料ト比較シテヨリ多クノ勞働ヲ必要トシ從ッテ生產費ハ割高トナル。生產增ニ依ッテ、例ヘハ、最近ニ於ケル

ベンジン、ステープルフアイバーノ如ク、生産費カ著シク低下スル事ヲ期待スルニシテモ、當分ノ間、生産費カ高クナル事ハ不可避的テアラウ。總生産費ニ於ケル自然原料ノ部分ハ、普通、第二次的重要性シカ持タナイカラ、生産費ノ騰貴ハ、思ツタ程テハナイカモ知レナイ。

價格問題ノ重要性ヲ認識シテ最近帝國食糧圏体ハ、固定價格大系ヲ建設スルニ至ツタ。生活必要品ノ價格ハ規則的ニ公表サレ、一切ノ價格吊上ケニ對シテハ、嚴重ナル罰則カ適用サレルニ至ツタ。

一九三六年十月二十九日附法律ニ依ツテ價格統制官（Reichs Kommissariate für Preisbildung）カ再ヒ設ケラレル事ニナツタ。價格統制官ハ從來幾度カ廢止、再設ノ運命ヲ負ツテ來タノテアルカ、今回原料四ケ年計畫遂行ト關聯シテ再設サレルニ至ツタ價格統制官ハ、從來ノ夫ト比較シテ著シク廣汎ナ活動領域ヲ持ツテ居ル。

卽、一九三二年ノ春、價格統制官カ新設サレタトキ、其ノ主ナ任務ハデフレーシヨン政策ノ壓力ニ應シテ物價水準ヲ下ケルト云フ事ニアリ、

一九三四年ノ末カラ一九三五年ノ中頃ニカケテハ、不當ナル物價引下ケヲ防止スル事ヲ目的トシタカ、今回ハ、生產ト消費トヲ豫見的ニ統制スル事ニ依ツテ、一切ノ物價吊上ケヲ禁止スル事ニ重點ヲ置イテ居ル。從ツテ、新設ノ價格統制官ノ活動ハ總テノ財貨、用益、價格形成ノ總テノ段階及ヒ農業ヲモ含メテ經濟政策ノ全領域ニワタツテ居ル。

價格統制官ハ、國民經濟的ニ正當ナ價格ヲ維持スル爲メ、必要ナ一切ノ手段ヲ講スル事カ出來ル。彼ハ價格ニ關シ帝國ノ最高行政官廳ニ歸屬スル一切ノ任務、權限ヲ手中ニ收メテ居ル。唯、賃銀ノ形成ニ關シテハ勞働秩序法ノ規定カ適用サレル。即勞働信賴人（Treuhänder der Arbeit）ノ權限カ尊重サレル。

必要ナ命令ハ、價格統制官ノ提議ニ基キ、ゲーリング全權者ニ依ツテ發令サレル。命令ニ依ツテ、無制限ノ罰金刑及ヒ、自由刑（監獄迄）ヲ定ムル事カ出來ル。

價格統制官自身ハ、無制限ノ秩序罰ヲ下命スル事カ出來ル。ソノ命令

ニ違反シタル場合、事業ヲ閉鎖モスル事カ出來ル。

ヒットラー總統ハ、此ノ重要ナル任務ヲヨセフ。ワグナー（Joseph Wagner）ニ與ヘタ。

原料四ヶ年計畫ハ獨逸全國民ノ利害休戚ト深ク關係シテ居ル。

獨逸ノ工業經濟ノ組織ハ、積極的協力者ヲ得テ、其ノ生存ノ權利ヲ主張スル機會ヲ與ヘラレタ。個人ノ創意ハ絶滅サルヘキテハナク、計畫ノ埒内ニ於テ、共通ノ目的ニ奉仕シナケレハナラナイ。問題ハ、タ、ニ、生產者、配給者ノ規律、犧牲的精神ハカリテハナイ。各消費者ハ、自分ノ慾望ヲ現在アルモノニ制限シ、不必要ナ濫費ヲ抑制シ、不可避的ナル缺乏、困難ヲ平然トシテ甘受スル事ニ依ッテ、應分ノ貢獻ヲ爲サネハナラナイ。コヽニ、啓蒙運動ノ廣汎ナ分野カ殘サレテ居ル。ゲーリングノ言葉ヲ用ヒンカ、獨逸勞働戰線ノ使命ハ、マサニ、コヽニ存スルノテアル。

四ヶ年計畫ハ、ゲーリングノ言ヲ如ク

昭和十二年四月

獨逸新四ヶ年計畫ニ關スル研究

第一部

内容目次

第一章　獨逸新四ヶ年計畫ニ於ケル金融問題 ……… 一頁
(一)獨逸産業ノ金融力 ……… 一
(二)混合的金融 ……… 五
(三)最近ニ於ケル獨逸ノ金融狀勢 ……… 八
(四)新四ヶ年計畫ノ金融的背景トシテノ株式法改正 ……… 二〇
(五)新四ヶ年計畫ノ金融方法ニ關スル資料 ……… 二七
(イ)新四ヶ年計畫ノ金融方法
（一九三七年一月十三日　ロA3）……… 三七
(ロ)獨逸藏相ノ原料自給四ヶ年計畫ニ關スル演說 ……… 三九
(ハ)原料工業ト資本市場
（一九三七年一月八日　Der Deutsche Volks Wirt）……… 五一
(ニ)獨逸新四ヶ年計畫ニ於ケル民間資金動員ノ實例 ……… 五三
(A)クルップノ燃料社債 ……… 五三
(B)エツセン石炭會社化學工場ノ一千萬麻社債 ……… 五四

第二章　獨逸新四ヶ年計畫ノ意味スルモノ ---------- 三五
原料計畫ト Kotonisierung ---------- 三五
第三章　獨逸新四ヶ年計畫ト農業 ---------- 四三
(一)獨逸食糧問題ノ構造 ---------- 四三
(二)獨逸ニ於ケル農產原料供給ノ狀況 ---------- 四八

第一章　獨逸新四ケ年計畫ニ於ケル金融問題

(一)獨逸産業ノ金融力

最近發表サレタ重要産業會社ノ貸借對照表ヲ見ルト、獨逸ノ重要産業部門ノ金融的基礎カ如何ナルモノテアルカカ看取サレル。研究ノ便宜上各種ノ産業部門、例ヘハ鑛山業、製鐵業及鐵加工業、纖維工業及ステープルフアイバー工業等カラ、十二個ノ大キナ株式會社ヲ標本トシテ抽出スル事ニシタ。個々ノ目標ニ從ツテ貸借對照表ヲ分析スルト、個々ノ企業ニ就テ次ノ數字ヲ計算スル事カ出來ル。

(1)流動性。但シ Liquidität ハ、夫カ貸借對照表ニ於テ別ニ示サレ、又ハ會社ノ營業報告ニ於テ、數字的ニ表示サレル場合ニ限リ、流動性ニハ關係ノ無イ長期貸付ニ算入サレテ居ル。茲ニ所謂貸付ト云フノハ、獨逸ー和蘭金融協定ノ結果トシテ設立サレタ「信託會社」(Treuhandgesellschaft)ニ依ツテ與ヘラレ、性質上、長期的ト見ラレルモノヲ指スノテアル。貸付ハ商品ヲ擔保トシテ與ヘラレルノテアル。

(2)自己資本　(單位一千マルク)

企業ノ名	貸借對照表決定期日	流動性			自己資本	
		企業財產	短期債務	差額	絕對量	貸借對照表ノ%
	年月日					
Harpener Bergbau	1935,12,31	34 302	16 919	+ 17 383	86 483	53 %
Gute Hoffnungshuette Oberhausen	1936, 6,30	63 024	33 745	+ 29 279	79 048	58
Hoesch Koeln Neuessen	〃	54 730	35 460	+ 19 270	142 162	73
Kloeckner Werk	〃	53 790	30 560	+ 23 230	124 494	64
I.G.Farben-industrie	1935,12,31	736 522	225, 526	+510 996	1015 222	65
Christian Dierig	〃	29 158	7 765	+ 21 393	37 904	66
Kammgarnspinnerei Stoer & Co.	〃	16 292	7 980	+ 8 312	17 302	58
T.P.Bemberg	〃	10 120	3 200	+ 6 920	21 250	87
Aschaffenburger Zellstoff Werke	〃	24 085	15 789	+ 8 296	25 897	47
Zellstoffabrik Waldhof	〃	23 600	21 900	+ 1 700	39 600	64
Continental Gummi Werke	〃	54 384	13 918	+ 40 466	58 121	74
Deutsche Erdoel A.G.	〃	19 067	9 403	+ 9 664	126 119	93

此ノ表ニ依ッテ見ルニ、各會社ノ自己資本ノ基礎ハ極メテ良好テアル。其ノ中二、三ノ會社ニ於テハ十二分ニ良好テアル。

然ルニ流動性ニ就テハ、會社ニ依ッテ著シイ差異カアル。I.G.Farbenindustrie, Christian Dierig, Continental Gummi-Werke, F. P. Bemberg ノ貸借對照表ハ極メテ流動的テアル。

Harpener Bergbau, Gutehoffnungshuette, Deutsche Erdoel A.G., Klooeckner Werke モ亦可成リノ程度ニ於テ流動的テアル。

ステープルフアイバー及ヒ製紙部門ハ最モ非流動的テアル。然シ乍ラコレトテモ、格別悲觀スルニ値シナイ。何トナレハ、自己資本ノ基礎カ上記ノ如ク良好テアルカラ充分ナ流動性ヲ作リ出スニ必要ナ程度ニ於テ長期資本ヲ吸收スル事カ出來ルカラテアル。既ニ私經濟ノ社債發行制限ハ、或程度ニ於テ緩和サレテヰル。

十二個ノ標本的會社ハ現存ノ多クノ會社ノ中カラ任意ニ抽出サレタモノテアル。其ノ限リニ於テ、夫等ハ所屬企業部門ノ代表者ト見ル事カ出來ル。但シ Deutschen Erdoel A.G.ハ、持株會社テアルカラ、別テアル。

故ニ或程度ニ於テ、此等ノ標本的會社ノ企業財政狀態——ソレハ、上記ノ如ク、大體ニ於テ極メテ良好ナリト言ハナケレハナラナイ——カラ推シテ、各企業部門全體ノ財政的健全性ヲ知ル事カ出來ル。

原料四ケ年計畫カ獨逸ノ國民經濟ニ對シテ課スル重大ナル課題ニ鑑ミルトキ、以上ノ事實又ハ主張ハ、極メテ重要テアル。大工業會社ノ營業報告ヲ一瞥スルト、國內原料ニ依ル外國原料ノ驅逐ニ關スル研究作業ハ極メテ順調ニ進捗シツツアルハカリテナク、一部分、既ニ完成シタトモ見ラレ得ルノテアル。即チ各關係會社ハ、研究室ニ於テ得ラレタ知識ヲ實際的ニ利用シ、大規模ノ生產ヲ起ス爲ニ、既ニ生產設備ヲ擴張シタ、或ハ現ニ擴張シツツアル。

然シ乍ラ、既存ノ自己資本タケテ原料四ケ年計畫ノ資金ヲ賄ツテ行ク事ハ勿論不可能テアルカラ、政府ハ新資本ヲ社債發行ニ依ツテ獲得シヨウト欲スル會社ニ對シテ、社債ノ發行ヲ認可スル事ニナツテ居ル。社債ヲ發行スルニ當ツテハ、素ヨリ其ノ時其ノ時ノ資本市場ノ狀勢ヲ考ヘ、關係會社ノ事業ノ規模ト適當ノ割合ヲ保タナケレハナラナイ。然シ上記

ニ於テ、大體ニ於テ獨逸ノ工業株式會社ノ自己資本ノ基礎ハ良好テアルカラ自己資本ノ代リニ社債ヲ發行シテモ不安ヘナイト考ヘラレル。

(二)◎混合的金融

最近、獨逸ノ鑛山會社ハ、相次テ社債ヲ發行シテ以ツテ燃料合成ニ向ツテ邁進スルニ至ツタ。四ケ年計畫ノ投資プログラムニ、民間工業信用ヲ導入スルニ至ツタ事ハ、新原料生產設備ノ資金ヲ如何ニシテ調達スルカト云フ原料計畫ノ金融方法ニ就テ一ツノ手掛ヲ與ヘルモノテアル。此ノ新段階ハ如何ニ政府當局カ新四ケ年計畫ノ金融問題ニ就テ、非獨斷的ナ考ヘヲ持ツテ居ルカヲ示シテ居ル。即チ、政府ハ獨逸ノ金融的傳統ノ實際ヲ顧ミテ、其ノ多樣性ヲ尊重スルノテアル。國民社會主義經濟指導ノ本質ニ鑑ミテ新ナル金融的需要ヲ集中的ニ滿足シヨウトスル。ソレハ丁度原料計畫ノ爲ノ設備新設、擴張ヲ國家企業トシナイテ、出來ルタケ民間經濟ノ企業家イニシアチーブノ上ニ建設スルノト同シテアル。新設工場カ最初、金融的ニハ親會社ニ依存シナイ場合ニ於テモ、國家カ大規模ノ信用授與ヲ通シテ經營ニ參加スル場合ニ於テモ企業者ノ事業的熱心

ト、義務意識トハ、新設備ヲ「自分ノ仕事」トシテ主張スヘキテアル。目的トスル所ハ、遠カラス經營ニ對スル國家干與カ解消シ、企業カ金融的ニモ、「民間化」（Privatisieren）サレル事ニアル。

此レ、所謂企業「再民間化」（Reprivatisierung）過程ノ建設的新版テアル。

民間信用カ、特ニ金融目的ニ合致スル場合民間信用ヲ動員スル事ハ、以上ノ精神ニ則ルモノテアル。之ト同時ニ、資本市場ニ於テハ民間ノ貯蓄者及投資家ノ需要ト習慣トニ應シテ、各種ノ投資可能カ成立スル事ニナル。此ノ事ハヒイテ國家信用ニモ作用ヲ及ホス。此ノ外、多クノ理由ニ依ツテ、原料計畫ノ爲ノ社債カ圓滑ニ資本市場ニ依ツテ消化サレル事ハ明カテアル。

當社債ノ借替成功ハ、既ニ資本市場ノ消化力ヲ確メ、新社債ノ爲ノ幸先ヨキスタートヲ作ツタ。加之、資本市場ハ新資金ノ需要カ、全部テ一億磅ヲ超過シナイ限リ、資金需要ヲ充シ得テ然モ尙、流動的テアリ得ルノテアル。鑛山當社ノ私人銀行カ、新社債ノ賣出シニ就テ特ニ世話スル

必要ハナイト思ハレル。

新社債發行ノ手取金ハ、勿論鑛山會社ノ新投資ト關係セル資金需要ノ當ニ其ノ一部ヲ充スニ過キナイテアラウ。卽チ、鑛山會社ハ新社債ノ發行ト竝ンテ積立金、其ノ他ノ資產ヲ動員シナケレハナラナイテアラウ。更ニ、根本的ニハ銀行ノ活動分野ハ、新資金需要ノ埒內ニ見出サレルテアラウ。第一次四ケ年計畫ノ下ニ於テ、銀行ノ手形業務ハ著シク增大シタカ、同時ニ民間ニ對スル資金ノ貸付ハ減少シタノテアル。玆ニ於テカ銀行ハ原料計畫ノ爲ノ資金需要ヲ以テ、銀行カ再ヒ工業金融ニ乘リ出スノ爲ノ恰好ノ機會ト考ユルニ至ツタ。蓋シ、信用ヲ與ヘル事ハ健全ニシテ活動的ナ銀行ノ本質ニ屬スルカラテアル。

民間ノ建設工業ニ資金ヲ貸出ス事ト、公債ノ新規發行及借替ニ應スル事トノ間ニハ、一見競爭關係カ存在スル樣ニ思ハレルカ、此レハ事柄ノ表面ニノミ關スル事テアル。蓋シ、銀行カ民間企業ニ對スル資金ノ貸付者トシテ、直接原料計畫ノ達成ニ協力スルカソレトモ、間接ニ政府ノ信用動員ニ應スルカト云フ事ハ、根本問題ト云フヨリハ寧ロ、金融技術上

ノ問題テアル。

此ノ民間信用ノ動員ト、國家的金融方法トノ間ニハ、技術的ニハ中間段階カ可能テアル――國家的ニ保證サレタル價格ノ形ニ於テ、國ノ信用保證ノ形ニ於テ。

之ヲ要スルニ、原料計畫ヲ達成スルニ當ツテハ、出來ルタケコストカ低イト云フ事ヲ條件トシテ、一切ノ信用泉源、一切ノ節約資本ヲ動員シナケレハナラナイ。

(三)最近ニ於ケル獨逸ノ金融情勢

獨逸ニ於ケル金融市場ノ現狀勢ヲ分析スルニハ、景氣恢復金融ノ最モ重要ナル泉源カラ出發スルト、極メテ合理的テアル。

即チ我々ハ、次ニ揭ケル三ツノ泉源ヲ區別シナケレハナラナイ。

(a)潛在的ナ信用餘力ノ動員

(b)在庫品ノ減少ト、減價償却費中ノ未投下部分ヨリ成ル資本解放。

(c)貯蓄ト自己金融――ソレハ又、國家ノ經濟活動ニ依ツテ著シク促進サレテ居ル――ニ依ル長期貨幣資本ノ創造。

獨逸經濟ノ恢復ニトツテハ、二ツノ因子カ決定的ニ重要テアツタ。即チ、一ツハ國家カ經濟恢復ノ爲、自ラ尨大ナル借金ヲ背負フニ至ツタ事テアリ、今一ツハ經濟恢復ノ爲、短期信用ノ飛躍的膨脹ヲ通シテ、信用市場ヲ動員シタ事テアル。

信用動員

獨逸ノ金融市場ハ、一九三三年以來短期ノ變動ニ依ツテ妨害サレタカ大體ニ於テ著シク流動化シタ。一九三六年ヲ通シテ、長期債ヘノ借替ノ爲、數回ニ亘ツテ尨大ナ額ノ流動的手段カ引上ケラレタニモ拘ラス、金融市場ハ流動性ヲ失ハナカツタノテアル。

此ノ間ニアツテ、金融市場ニ於ケル浮動的信用ノ量ハ、不斷ニ增加シタ。我々ハ獨逸ニ於ケル手形流通ノ不斷ノ增加ニ依ツテ、此ノ事實ヲ察知スル事カ出來ルノテアル。同シ事カ無利子ノ大藏省證券ノ流通ニ就テ云ハレル。即チ無利子大藏省證券ノ流通量ハ、一九三三年ノ六月末カラ一九三六年ノ六月末ニカケテ、約十億馬克(マルク)タケ增加シテ居ル。此ノ種ノ短期信用カ膨脹スルニツレテ、其ノ他ノ銀行信用ハ收縮シタ。取引所信用

ハ未曾有ノ低位ヲ保ツタ儘、今日ニ及ンテキル。普通ノ短期銀行信用ノ分野ニ於テスラ、何等ノ還増ノ傾向カ看取サレナイハカリテナク、一路ノ減少ノ趨勢ヲ辿リ、最近ハ低位ヲ保ツタ儘一向變動ノ傾向ヲ見セナイノテアル。

一九三二年以後ニ於ケル銀行手形保有量ノ變動趨勢ハ明ニ獨逸ノ信用機關カ手形ノ割引ヲ通シテ、著シイ程度ニ於テ景氣恢復金融ニ協力シタ事ヲ物語ツテキル。

カクテ一九三二年十月カラ一九三五年十月ニカケテ、三ケ年ノ間ニ、手形及ヒ大藏省證券ノ總流通額ハ約四十億磅タケ増加シタカ、其ノ間ニライヒスバンクモ含メテ、獨逸ノ信用機關ノ保有量ハ、約四十六億磅タケ増加シテ居ルノテアル。一九三六年ヲ通シテ、銀行ノ手形保有ハ更ニ十八億七千萬磅ノ増加ヲ見タ。

就中、ライヒスバンクハ積極的ニ手形金融ニ乘リ出スニ至ツタ。即チライヒスバンクノ手形保有量ハ一九三二年末カラ一九三五年末ニカケテ十二億磅タケ増加シ、爾來、一九三六年十一月迄ニ更ニ八億三千萬磅ノ

增加ヲ示シテキル。ライヒスバンクハ、如何ニシテ手形保有増加ノ爲ノ手段ヲ獲得シタカト云フ問題ハ獨逸ノ景氣上昇金融カ中央發券銀行ヲ通シテ行ハレタ限リニ於テ、景氣上昇金融ノ泉源カ何處ニ存在シテキタカニ就テ手掛ヲ與ヘル。

先ツ、一九三二年末以後最後ノ金及爲替保有量ノ流動化ハ、約五億瓩ノ資金ヲ解放シタ。次テ銀行券流通量ハ、此ノ間ニ約十二億瓩タケ増加シタ。最後ニライヒスバンクニ於ケル振替債權即チライヒスバンクニ於ケル國民經濟ノ無利子ノ事業預金ハ、一九三二年末以來三億三千萬瓩タケ増加シタ。以上ノ如キ方法ヲ通シテライヒスバンクハ、手形保有ヲ増加スル爲ノ手段ヲ國民經濟ノ中カラ汲取ル事カ出來タノテアル。

一九三六年ヲ通シテ、獨逸信用銀行ノ信用量ハ根本的ナ構造的變化ヲ見ルニ至ツタ。即チ、信用銀行ノ貸出業務ニ於テ、民間經濟ニ對スル貸出ハ不斷ニ減少シ、之ニ代ツテ公共的事業及公共的投資ノ金融ト關聯セル信用授與カ益々増加スルニ至ツタ。

即チ、伯林大銀行ノ貸出及ヒプムブール信用、即チ純粹ノ民間貸出ノ

貸借對照表上ノ總額ニ對スル割合ハ、一九二九年末及ヒ一九三二年末ニ於テ、夫々五五・二%、六二・七%テアツタカ、一九三六年末ニハ四四・八%ニ減少シタ。然ルニ、手形、大藏省證券及ヒ有價證券ノ項目ハ――公共的信用授受ノ主タル形式――同期間ニ於テ、二二%、二五・三%カラ四四・三%ニ增加シテ居ル。

次ニ注目スヘキハ、最近、益々信用銀行カ國ノ長期債借替ニ積極的ニ協力スルニ至ツタコトテアル。之ト關聯シテ、信用銀行ノ國債保有量ハ近來益々增加ノ傾向ニアル。民間信用銀行ニ於ケル貸借對照表上ノ總額カ、一九三五年末迄不斷ニ減少シタト云フ事實ヲ考ヘルトキ、此ノ信用銀行ノ國家金融ヘノ積極的協力ハ益々以テ注目ヲ要スル。伯林五大銀行ノ貸借對照表上ノ總額ハ、一九三二年末カラ一九三五年末ニカケテ、約十四億磅タケ減少シテ居ルノテアル。

公共銀行ニ於ケル貸借對照表上ノ總額ノ增大

此處ニ、民間銀行ト公共銀行トノ間ニ著シイ相異カ看取サレル。即チ前述ノ如ク民間信用銀行ノ貸借對照表上ノ總額ハ減少シテキルノニ、公

共銀行――即チ公法上ノ信用銀行――ノ夫レハ、著シク増加シテ居ル。公共銀行ニ於テハ私的信用授與モ、外國信用業務モ極メテ些細ナ役割ヲ有スルニ過キナイノテアツテ、從ツテ此ノ種ノ銀行業務部門カ收縮シテモ、公共銀行ハ格別ノ影響ヲ受ケナイノテアル。其ノ反面ニ於テ、公共銀行ハ普通ノ民間ノ信用銀行ヨリハ、ヨリ積極的ニ公共金融ニ參加協力シ得タノテアル。即チ、Staatsbank 及 Landesbankノ貸借對照表上ノ總額ハ、最近四年間ニ十一億麻タケ中央振替所（Girozentrale）ノソレハ十七億麻タケ増加シテキル。十六億麻タケ、五公共特別金融機關ノソレハ十七億麻タケ増加シテキル。

獨逸ノ金融機關カ全體トシテ極メテ流動的テアルコトハ、裏書債務カ低イコトニ依ツテモ察知サレル。例ヘハ一九三六年十月末ニ於テ、民間及公共信用機關――調査サレタタケノ――ノ裏書債務ハ約二十四億麻ニ達スル。ライヒスバンク及ヒ金割引銀行ノ其ノ時ニ於ケル手形保有量カ約五十四億麻テアツタト云フ事實ハ、ライヒスバンク及金割引銀行ニ依ル公共手形ノ直接割引――信用銀行ヲ媒介トシナイ――カ、最近著シク増加スルニ至ツタ事ヲ示シテ居ル。

民間企業ノ經營信用ノ需要カ、狹イ範圍内ニ押シ込メラレタタメ、民間ノ信用銀行カ從來兎角景氣恢復テフ舞臺ノ背景ニ隱サレテキタコトハ事實テアル。新四ケ年計畫ハ、此ノ事實ヲ變更スルテアラウ。蓋シ、新四ケ年計畫ニ依リ民間企業ハ、或ハ經營ヲ擴張シ、或ハ經營ヲ轉換シ、或ハ又、新規投資ヲ行ハナケレハナラナクナツタカラテアル。此ノ新四ケ年計畫ヲ遂行スルニ必要ナ信用ノ需要カ、銀行ノ分野ニ落チ來ル限リ銀行ハ、近キ將來ニ於テ全力ヲアケテ信用ノ需要ニ應スル事ノ中ニ、最大ノ目的ヲ見出ステアラウ。

○物的資本ノ解放

以上述ヘタル所ノ信用動員ト平行シテ、又ハ之ト關聯シテ、既存物的資本ノ解放又ハ轉換カ景氣昂揚金融ノ意外ニ重要ナ泉源トナツテキル。連續的ナ生產ノ過程ニ於テハ、年々生產手段ノ生命期間ニ應シタ部分ハ生產物ニ轉化スル。カクテ販賣收入ノ一部トシテ流動的ナ貨幣形態ヲ取ル。經營經濟學的ニ云ヘハ、此ノ國民經濟的ニ重要ナ現象ハ減價償却トナツテ現ハレル。從來ノ規模ニ於テ生產ヲ續行スルタメ、此ノ減價償却

ルハ、普通機械其ノ他ノ生産設備ヲ更新スル爲ニ使用サレルノテアル。然ルニ、不況期ニ於テハ此ノ減價償却分ハ直チニ投資サレナイテ、流動的形態ニ於テ保有サレル事カアル。此ノ現象ハ、一九三一年カラ一九三四年ニカケテ大キナ役割ヲ演シタ。信憑スヘキ推定ニ依レハ、工業、補給、交通業、商業、手工業、住宅經濟ノ分野ニ於テ、年々五十億磅ノ補充的投資ノ中、此ノ四ケ年間ニ、約五十億磅即チ、一四ハ、直チニ投資サレテキナイノテアル。此ノ減價償却費ノ中ノ未投資部分ハ、勿論他ノ目的ノ爲ニ動員サレ得タノテアリ、カクテ信用市場ノ流動化、カクテ又公共的ナ事前金融ニ役立ツタノテアル。

同様ノコトカ、在庫品ノ量的減少ニ就テモ云ハレル。國民經濟的ナ在庫品ノ大サハ、一九二九年末現在ニ於テ約二百七十億磅、一九三二年末ニ於テハ、恐慌期ノ物價下落ノタメ、約二百億磅ヲ算シタ。信賴スヘキ權威者ノ統計ニ依ルニ、一九三六年ヲ通シテ在庫品ノ大サハ更ニ減少シタ。最後ニ、金、外國爲替其ノ他ノ對外債權ノ消費ヲ通シテ、國民經濟的財産ノ一部カ流動化サレタ。

◎新規資本ノ創造

獨逸ニ於ケル新規資本ノ創造ニ就テハ、次ノ三種ノ主ナ形式ヲ區別シナケレハナラナイ。即チ、

(1)信用機關、保險會社及證券市場ヲ通シテ行ハレル資本形成。

(2)自己金融ニ依リ、企業ノ內部ニ於テ行ハレル物的資本ノ形成。

(3)租稅收入ヲ公共ノ物的投資ニ向ケルコトニ依リ、國家的ニ監理、實行サレル資本形成。

以上三ツノ形式ハ、今日何レモ重要ナ役割ヲ演シテ居ル。然シ乍ラ、前ノ景氣期間ト比較シテ資本形成ノ重點カ、第三ノ形式、即チ國家的資本形成ニ移動シタコトハ爭ヘナイ。

貯蓄預金ノ形ヲトル資本形成ハ、遞增ノ傾向ヲ辿ツテヰル。一九三六年ノ最初ノ十ケ月間ニ於ケル拂込超過ハ、三億二千八百萬磅テアツテ、前年度ヨリハ幾分少イ。ソレニモ拘ラス、每月ノ貯蓄預金總額ハ增加シ、一九三六年十月末現在ニ於テハ、百四十億二千萬磅ヲ算スルニ至リ、一九三二年十月末ノ現勢ト比較シテ、約四十四億磅ノ增加ヲ示シテヰル。

生命保險會社ヲ通スル資本形成ハ、明ニ長期的テアル。保險契約高ハ一九三二年末ニ於テ、百七十四億廠ヲ算シタカ、一九三六年十月末ニハ既ニ、二百二十八億廠ニ達スルニ至ツタ。保險契約高ノ增加ニ應シテ、保險料ノ拂込高、從ツテ又實際ノ貨幣資本ノ形式、卽チ又保險會社ノ資本投資カ增加シタ。此ノ種ノ資本形成カ、國家支出ヲ賄フ上ニ有スル重要性ハ一九三三年末以後、生命保險會社ノ有價證券保有高カ二倍以上ニ增加シ、今ヤ十三億三千三百萬廠ヲ算スルニ至ツタトイフ事實ニ依ツテ窺フコトカ出來ルノテアル。一九三六年度ニ於ケル增加ノ中、大部分ハ新發行ノ國債テアル。

以上ノ外、或種ノ貨幣資本形成ハ、其ノ他ノ信用機關ニ於テモ行ハレタ。例ヘハベルリン大銀行ニ於ケル貯蓄預金ハ、一九三六年十月末ヲ以テ終ル一ケ年間ニ、約六千萬廠タケ增加シテ、五億二千三百萬廠トナツタ。之ト平行シテ、信用銀行ニ於ケル長期預金モ亦、增加ノ趨勢ヲ辿ツタ。卽チ、長期預金ハ一九三六年ヲ通シテ、約二億三千五百萬廠ノ增加ヲ示シタ。次ニ、新規資本形成ノ著シイ部分ハ、信用機關ノ外部ニ於テ

直接的ニ行ハレタ。即チ一九三六年ヲ通シテ、新ニ形成サレタ貨幣資本ノ中、信用銀行ヲ通過シナイテ、直接證券市場ニ流レ込ム割合カ增加シタ。之ニ依ツテ、獨逸國ハ其ノ所有ニカカル民間會社ノ株式ヲ買却シテ財政上ノ需要ヲ充ス爲ノ手段ヲ獲得スル事ニ成功シタ。――所謂Ent-privatisierungト注目スヘキ現象テアル。

ベルリン大銀行ノ貸借狀況

（貸方總額ノ%トシテ表ハス）

（授信業務）

各年ノ十月末現在	一九二九年	一九三二年	一九三五年	一九三六年
手形及國庫手形	二七四%	一八七%	二八七%	三三六%
有價證券	七六	六六	一〇二	一〇七
其中國債ト州債	〇一	五二	五六	五八
貸付	四二三	五七五	四六八	四二三
ラムブール信用	一二九	一一二	二八	二五
現金ト銀行債權（信用機關ヲ含ム）	一二四	四五	三八	三四

民間ニ於ケル直接的資本形成ノ第二ノ形式ハ、民間企業ノ自己金融テアル。此ノ自己金融カ所謂秘密積立金ノ形式テ行ハレル限リ、之ヲ數字的ニ捕ヘルコトハ不可能テアル。ソレテモ、一九三六年ヲ通シテ大規模ニ自己金融カ行ハレタコトハ、各種ノ發表數字ニ依ツテ窺フコトカ出來ル。例ヘハ、株式資本約九十一億磅ヲ有スル約一五〇〇個ノ株式會社ニ於テ一九三五年ニ於ケル純利益ハ、五億一千四百萬磅テアリ、配當ハ三億九千五百萬磅ニ過キナイカラ、以上ノ株式會社ニ於テ――獨逸企業經濟ノ一少部分ニ過キナイ――一九三五年ヲ通シ、少クトモ一億二千萬磅ノ新資本カ自己金融ニ依ツテ、形成サレタ事ニナルノテアル。

之ニ對シテ、社會保險機關ニ依ル資本ノ集積ハ、國家的資本形成ヘノ第一段階テアル。一九三六年十月末ニ於テ、病弱保險ノ財產投資ハ一九三二年末現在ト比較シテ、約六億八千萬磅タケ增加シテ、二十億磅トナリ、使用人保險ノソレハ約九億二千萬磅增加シテ、二十九億六千萬磅トナツテヰル。以上ノ增加分ノ中、夫々二億六千四百萬磅、三億二千六百萬磅ハ、最後ノ十ケ月ニ關スルモノテアル。以テ增加ノテンポカ一九三

六年ニ於テ、著シク増大シタコトヲ知ルヘキテアル。

(四)新四ケ年計畫ノ金融的背景トシテノ株式法改正

一九三七年一月三十日ノ改正株式法ニ於ケル條件附資本（das bedingte Kapital）及ヒ認可資本（das Genehmigte Kapital）ハ、基本資本ノ新形式テハナイ。會社ノ定款ニ依ッテ定メラレル基本資本ノ數字ノ中ニハ——コレハ、常ニ引受ケラレタル、又ハ應募サレタル株式ノ總券面金額ニ等シイ——條件附資本モ、認可資本モ現ハレナイ。條件附資本ノ名目額ハ、貸借對照表中眞正ノ基本資本ノ傍ニ記入サレルノミテアル。認可資本ノ名目額ハ、全然貸借對照表ニ現レナイテ、會社ノ營業報告ニ發表サレルノミテアル。故ニ獨逸株式法ヲ支配スル「基本資本確定」ノ原則ハ、今回ノ新株式法ニ於テモ何等ノ變更ヲ蒙ッテヰナイノテアル。條件附資本及ヒ認可資本ノ意義ハ、單ロ夫等カ新資本調達ノ形式トシテ、基本資本ノ増加ヲ容易ナラシメルコトノ中ニ存スル。資本調達ヲ容易ナラシメル事ハ、今日新四ケ年計畫ノ埒内ニ於テ、原料自給テフ尨大ナル任務ヲ解決スヘキ獨逸ノ國民經濟ニトッテハ、一ツノ必然性テモアル。

認可資本

社債發行及ヒ銀行信用ニ依ル資金調達ヲ除ケハ、從來新資本調達ノ爲ノ主ナル手段ハ增資テアツタ。增資ヲ行フタメニハ、商法ノ規定ニヨリ從來株主總會ヲ召集シ、其ノ決議ヲ經ネハナラナイハカリテナク、更ニ此ノ決議ヲ登記シ、新株式ノ申込ヲ必要トシ、更ニ增資ノ實施ヲ登記シナケレハナラナカツタノテアル。以上ノ手續ヲ經テ、初メテ新株式ヲ發行スル事カ出來タ。カカル增資ハ——新株式法モ資本調達ノ通常ノ形式トシテ、之ヲ舊株式法カラ受ケ繼イテ居ルカ——資本市場ノ有利ナ情勢ヲ迅速ニ利用スル必要ノ存スル場合、不適當ナ手段テアツタ。商法ノ規定スル增資ハ、アマリニモ、マタルツコイ方法テアツタ。認可資本ナル制度ヲ導入スルコトニヨツテ、此ノ缺陷ハ除カレル。將來ニ於テハ、會社定款ハ拂込（金錢拂込又ハ現物出資）ニ對シテ特定額ノ株式ヲ發行スル權限ヲ理事會（Vorstand）ニ與ヘルコトカ出來ルノテアル。即チ、將來ニ於テ理事會ハ、定款ニ依ル授權ニ基キ、自ラ正當ニシテ、合目的々テアルト信スル場合ニハ、增資ヲ行フコトカ出來

ルノテアル。理事會ハ、增資ノ爲ノ全權者トナル事カ出來ル。カクスル事ニ依ツテ、株式會社ハ資本市場ニ於テ必要ナル運動ノ自由ヲ獲得スルノテアル。新株式法ノ組立ニ依レハ、カカル授權ノ擔當者タリ得ル者ハ排他的ニ會社ノ經營ヲ行フ所ノ理事會ヨリ他ニアリ得ナイノテアル。

定款ニ依リ、理事會ニ與ヘラレル增資上ノ權限ハ勿論或種ノ保證ヲ要求スル。

即チ、定款ニ依リ又ハ後ニナツテ、定款變更ニ依ツテ理事會ニ與ヘラレル增資上ノ權限ハ、五ケ年ヲ以テ限ラレルノテアル。此ノ時間的限定ハ、理事會ノ五ケ年任期ト何等カノ內面的關聯ニ立ツテ居ル。株式會社ノ金融的基礎ヲ强化スル爲ニハ更ニ、公益的見地ニ立ツテ、認可資本ト基本資本トノ間ニ特定ノ關係ヲ設定スル必要カアル。即チ認可資本ノ名目額ハ、授權ノ時ニ存在スル基本資本ノ半分ヲ超過スルコトカ出來ナイノテアル。理事會ハ、會社ノ監査會ノ同意タニ得レハ、新株式ヲ發行スル事カ出來ル。然シ乍ラ、同意ヲ得ルコトカ出來ナイト云フ事實ハ、新株式發行ノ效力ヲ阻止スルモノテハナイ。其ノ他ノ點ニ就テハ、株式發

行ノ手續ハ、一般ノ資本增加ノ場合ト同樣ニ進行スル。即チ新株式ハ、先ツ株式申込書ニ依ッテ申込マレナケレハナラナイ。舊株主ハ新株ノ發行ニ關シテ優先權ヲ持ッテヰル。然シ乍ラ、認可資本ニアッテハ、定款ニ別段ノ規定カ無イ限リ、理事會カ優先權其ノ他ノ株式發行條件ヲ排除スルヤ否ヤヲ決定スル。即チ、理事會ハ、監査會ノ同意ノ下ニ株式發行條件ヲ決定シナケレハナラナイ。

認可資本ハ、基本資本ノ增加カ商事臺帳（Handelsregister）ニ登記サレル瞬間ニ於テ、眞正ノ基本資本トナル。右ノ登記ヲ終ラナケレハ、新株式ヲ發行スルコトハ出來ナイ。此ノ形ニ於テ認可資本ハ、根本的ニアメリカ法ノ所謂Authorized Capitalト異ッテ居ル。Authorized Capitalハ會社カ發行シ得ル基本資本ノ最大限テアッテ、會社設立ニ於テモ、後ニナッテモ會社ハ事實上此ノ限度迄株式ヲ發行シナケレハナラヌ必要ハナイノテアル。アメリカ法ノAuthorized Capitalハ、認可資本ヨリハ遙ニ大キナ規模ニ於テ資本調達ヲ容易ナラシメルモノテハアルカ、往々ニシテ濫用サレルノ弊カアル。

資本調達形式トシテノ認可資本ハ、資本發行ノ原理ニ矛盾スルカノ貯藏株（Vorratsaktie）ノ完全ナル代替物テアル。

○條件附資本

條件附資本ハ、二ツノ目的ヲ持ツテキル。即チ、條件附資本ハ株式乘換權附社債（Convertible bond又ハ Wandelverschreibung）ノ債權者ニ對シテ、其ノ株式乘換權ノ確實ナル行使ヲ保證スルト共ニ、更ニ企業ノ合同ヲ促進スル。條件附資本ノ持ツ最大ノ意義ハ、株式乘換權附社債ノ發行ニアル。從來、既ニ株式乘換權ノ行使ニハ多クノ困難カアツタ。即チ社債カラ株式ヘノ乘換ハ、會社カ充分ニ自己株式ヲ所有スルカ又ハ將來ニ於テ調達スルコトノ出來ル場合ニノミ行ハレタ。會社カ、乘換ノ義務ヲ履行シナイ場合、社債權者ハ損害賠償ノ請求ニ關スル訴訟ヲ提起シ得ルノミテアツタ。然ルニ、新株式法ハ條件附資本ノ制度ヲ導入スル事ニ依ツテ以上ノ危險ヲ除去シタノテアル。即チ將來ニ於テ株主總會ハ、基本資本ノ增加ヲ決議スル事カ出來ル。然シ乍ラ、此ノ增資ハ會社カ新株式（乘

換株）（Bezugsaktie）ニ對シテ認メル乘換權（Umtausch- oder Bezugsrecht）カ行使サレル限リニ於テノミ行ハレナケレハナラナイ。條件附增資ヲ通シテ株式乘換權附社債ニ與ヘラレル乘換權ハ、其ノ後ニ於ケル株主總會ノ決議ニ依ツテ影響サレル事カナイ。カクスルコトニ依ツテ、社債權者ノ株式ヘノ期待權ハ保證サレルノテアル。最後的ナ基本資本ノ增加ハ、會社ノ意志テハナク、乘換權者ノ意志ノミニ依存スル。乘換權者ハ文書的申込（乘換申込）ニ依ツテ乘換權ヲ行使スル。乘換申込ハ、株式應募申込ト同一ノ效力ヲ持ツモノテアル。乘換申込ニ依ツテ、其他ノ株式發行條件カ滿足サレル限リ、乘換株ハ直チニ理事會カラ乘換權者ニ引渡サレル。但シ、此ノ場合ニハ普通ノ增資及ヒ認可資本ニ於ケルトハ異リ、豫メ商事臺帳ニ登記スル必要ハナイ。乘換株カ發行サレタタケテ條件附資本ハ眞正ノ基本資本トナリ、カカルモノトシテ、年々ノ貸借對照表中ニ發表サレナケレハナラナイ。條件附增資ヲ認ムルコトニ依ツテ、株式乘換權附社債ノ發行ハ容易トナリ、適當ナル資金調達形式トナルテアラウ。乘換權者ノ安定セル法律上ノ地位ハ、投資ニ對シテ一大刺

戟ヲ與ヘルテアラウ。會社カ、株式乘換權附社債ノ發行ニ依ツテ得ル利益ハ、普通ノ社債ヲ發行スル場合ヨリハ社債利子カ低クナルト云フコトテアラウ。

此ノ條件附資本テフ新シイ資本調達方法ノ濫用ヲ防クタメ、新株式法ハ次ノ如キ保證規定ヲ設ケテ居ル。株式乘換權附社債ノ發行ハ、配當附社債ノ發行ト同シク株主ノ利益ニ著シク影響スルカラ、株主總會ノ決議ニ依ラナケレハ行ハレ得ナイノテアル。株主總會ノ決議ハ原則トシテ、資本ノ3/4ノ多數ヲ以テ之ヲ爲スコトカ出來ル。株式乘換權附社債ヲ發行スルニハ、此ノ外國家ノ特別ナ認可ヲ必要トスル。蓋シ、株式ト社債トノ中間形式テアツテ、性質上著シク投機的テアル株式乘換權附社債カ經濟上ノ必要カ存在シ、且ツ濫用カ防止サレ得ル場合ニ於テノミ發行サレルコトヲ慮ルカ故テアル。

條件附增資ハ株式乘換權附社債ノ發行ト同シク、株主總會ノ決議ニ依ツテノミ、之ヲ爲スコトカ出來ル。此ノ決議ハ、資本ノ3/4ノ多數ヲ絕對的必要條件トスル。條件附資本ノ發行額ハ、條件附增資ノ決議ノ時ニ

存在スル基本資本ノ1/2ヲ超ユル事カ出來ナイ。

認可資本ハ、條件附增資ノ形テ發行スルコトカ出來ナイ。額面以下ノ發行ヲ防止スルタメ、特別ノ保證規定カ設ケラレテヰル。

最初カラ、株式トノ交換ヲ前提トスル株式乘換權附社債ノ發行ハ、乘換株ニ依ル資金調達ヲ容易ナラシメル爲ノ中間段階ニ過キナイノテアルカラ、乘換株カ發行サレルノハ乘換ノタメニ提供サレル社債ノ發行額トノ差額カ、純利益、自由ナル積立金又ハ乘換權者ノ拂込ニ依ツテ塡補サレル場合ニ限ルノテアル。

(五)新四ケ年計畫ノ金融方法ニ關スル資料

(イ)新四ケ年計畫ノ金融方法

(一九三七年一月十三日ヒ Deutsche Allgemeine Zeitung)

第二次四ケ年計畫實施ノ途上ニ横ハル困難カ、技術的、產業的分野ニ於テノミナラス、金融的領域ニ於テモ存スル事ハ最初カラ解リ切ツタコトテアル。獨逸ノ經濟ヲ、獨逸ノ原料テ賄ツテ行ク爲ニ必要ナ生產設備

ヲ設ケルニハ、幾億ヲ以テ算ヘル資金ヲ要スルテアラウ。然ルニ、今ヤ此ノ尨大ナ資金ヲ調達スヘキ方法ハ明瞭ニナツタ。第二次四ケ年計畫ヲ實施スルニ當ツテハ、出來ル限リ個人的創意心ヲ尊重シ、動員シ、促進シナケレハナラナイノテアルカラシテ、四ケ年計畫ノ資金ヲ調達スルニ就テモ、出來ル限リ民間ノ產業信用ヲ動員シナケレハナラナイ。

而シテ、此ノ場合國民社會主義ノ經濟觀ニ從ツテ、當該企業ノ株式資本ヲ增加スル方法ヲトラナイテ、定額利子附ノ社債テ賄ツテ行カネハナラナイ。蓋シ、株式ハ投機的分子ヲ隨伴シ易イカ、社債ー其ノ理想形態ハ國債テアルーハ、之ヲ除クコトカ出來ルカラテアル。

既ニ數個ノ會社、就中西獨逸ノ鑛山會社ハ、關係官廳ニ對シテ社債發行ノ認可ヲ請求シタ。此ノ社債發行ノ認可ニ對スル請求ハ、今後トモ益々增加スルモノト思ハレル。原料計畫ヲ社債ニ依ツテ賄ツテ行クト云フ遣方ハ、特ニ好都合テアル。蓋シ、最近ニ於ケル舊社債借替ノ好成績ニ徵シテモ明カナル如ク、一般民衆ハ益々此ノ種ノ有價證券ニ投資スルコトヲ愛好シテ居ル樣テアル。從ツテ、此ノ點カラ見テモ社債ノ發行ハ圓

滑ニ行クモノト思ハレル。

新社債ノ發行條件ノ詳細ニ就テハ、未タ知ル由モナイカ、新社債ハ最近取引所テ發行サレタ借替社債ト同樣テアルト見テ差支ヘナイテアラウ。或種ノ差異ハ勿論アラウカ、有ッテモ第二次的ナモノテアラウ。即チ、利率ハ五%テ、發行價格ハ額面ヲ割ラナイテアラウ。從ッテ利廻ハ、五%ヲ一寸出ルテアラウ。之ハ、現在ノ資本市場ノ狀況ニ徵シテ、投資慾ヲソソルニ充分テアラウ。

唯、此ノ場合社債ニ依ッテハ、第二次四ケ年計畫實行ニ必要ナ資金ノ一部分シカ調達出來ナイコトヲ注意スヘキテアラウ。

即チ、企業ハ社債發行ノ外ニ、自己資本——例ヘハ積立金——ヲ動員シ、或ハ又、公開信用ヲ求メナケレハナラナイ。

(ロ)獨逸藏相ノ原料自給四ケ年計畫ニ關スル演說

(一九三六年十二月二日ミユンヘンニ於テ藏相フオン、クロージック伯ノ爲セル演說)

今ヤ獨逸ノ財政經濟政策ハ一般政治問題ト最モ密接ナ關係ヲ有シ、之

ヲ分離シテ考察シ得ナイコトハ、各人ノ等シク認ムル所テアツテ、現ニ一九三三年以降ノ獨逸財政經濟政策ノ經過ニ付キテ之ヲ見レハ、略明カテアル。即チ之ヲ三階段ニ分ツ事カ出來ル。

(1)勞働振興政策、、、現政府樹立以來失業大衆ニパント賃銀トヲ與ヘル事ヲ目的トシテ之カ爲應急ノ措置ヲ取ツタカ、就業人口ハ徐々ニ增加シ、失業克服ニ對スル手段ト方法モ愈々改善サレ、結局失業人口ハ約百萬人ニ減少スルニ至ツタ。

(2)國防充實政策、、、之ニ依ツテ勞働振興政策ト同一ノ效果ヲアケルト共ニ、獨逸自動車道路ノ建設ニ成功シ、他方獨逸國防ノ充實ヲ計リ得タ。

(3)新四ケ年計畫ハ、オータルキーノ爲ノオータルキーヲ實現スルコトヲ目的トスルモノテハナク、獨逸國民ニ對シ其ノ自力ニ依リ、今後長期間ニ亘リ缺ク可ラサル生活ノ要素ヲ補給セントスルモノテアル。

現下ノ獨逸ハ、原料ノ需要ハ增加シテ然モ外貨難ノタメ、輸出ニ依ツテカバーシ得ナイ實情ニアルカラ、止ムヲ得ス經濟的自衞手段ヲ取ルニ

至ツタノテアル。

此ノ使命ヲ達成スル爲、豫算政策ニ於テハ、支出ト其ノ使命トノ重要性ヲ考慮シテ、比較的重要性ノ少ナイ支出ヲ差控ヘ、緊急已ムヲ得サル重要使命ニ對スル支出ノ財源ハ、之ヲ經常歳入ニ仰ク樣努メ、又金融市場政策ニ於テハ、四ケ年計畫實施ノ爲必要ナ公債ノ引受ヲ先ニシテ、重要性又ハ緊急性ノ少イ公社債ノ引受ヲ後廻シトスル樣留意シ、他方國庫カラ支出サレル地方及市町村ノ租稅收入ノ分前ハ、其ノ一定限度ヲ超過シナイ樣心掛ナケレハナラナイ。

之ヲ要スルニ、ヒツトラー總統ヨリ課セラレタル新四ケ年計畫實行ノ爲ノ今後四ケ年ニ於テ、犧牲ト忍苦トハ依然存續スル筈テアルカ、獨逸國民ノ犧牲心ニ信賴シテ本計畫ノ遂行ニ支障ナカランコトヲ希望スル。

(ハ)原料工業ト資本市場

昨年獨逸資本市場ノ投資力ハ著シク增大シタ爲、公債ノ整理——短期ノ浮動公債ヲ長期公債ヘ借替ヘル事——ハ見事ナ成功ヲ示シタハカリテナク、充分ニ其ノ他ノ重要ナ資本發行ヲ賄ヒ得ル餘力ヲスラ示シタノテ

アル。昨年認可サレタ私的組合及公的組合ノ特別發行ハ、常ニ困難ナク進捗シ、應募申込ハ往々ニシテ發行額ヲ超過スルニ至ツタノテアル。

作年ノ大晦日一寸前ニ、二億麻ノブロシヤ政府債ノ發行カ發行サレタカ、之モ勿論成功スル事ト思ハレル。

近キ將來ニ於テ、取引所ハ原料新四ケ年計畫ノ實施ト關聯セル支出ヲ賄ハネハナラナイテアラウ。衆知ノ如ク、最近 Chemische Werke Essener Stein-Kohle A.-G. ト呼フ合成ベンジン製造會社カ新設サレル事ニナツタ。之ハ Essener Steinkohlenberg-Werke（エツセン鑛山會社）ト、Harpener Bergbau A.G.（アーゲー、ハルペン鑛山）トノ組合企業テアル。新會社ノ公稱資本金ハ、千二百萬麻テ一一〇%ノ拂込テアル。

會社ノ發起人ハ、自己ノ資力ヲ以テ新會社ノ株式資本ヲ賄フ必要ハナク、資本市場ニ於テ公募スル事ニ依ツテ調達スルノテアル。此ノ爲「エツセン鑛山會社」ハ近ク一千萬麻ノ社債ヲ公募スル筈テアルカ、發行條件ハ未タ不明テアル。

合成原料ノ生産ニ於テ新會社カ占ムヘキ重要ナ地位ヲ考ヘルトキ、社

債ノ發行ハ格別ノ困難ニ遭着シナイデアラウ。況ヤ、新社債發行額ハ現在ノ資本市場ノ受容能力（投資餘力）トノ比較ニ於テ、微々タル小額ナルニ於テオヤ。

第二次原料四ヶ年計畫ト關聯セル最初ノ資本發行――之ニ續イテ同様ノ手段カ採ラレルコトハ必至テアル――ハ明カニ取引所カ其ノ會社創設業務ト平行シテ、第二次四ヶ年計畫ノ財源ヲ調達スル上ニ於テ、即チ、Finanzierungニ於テ重要ナ役割ヲ演スルニ至ルヘキコトヲ示シテ居ル。

(ニ)獨逸新四ヶ年計畫ニ於ケル民間資金動員ノ實例

(A)クルップノ燃料社債

フキッシャー・トロープシユ法ニ依リ、ベンヂン生產設備ヲ建設スル爲、クルップ會社ニ依リテ最近設立サレタ「クルップ燃料會社」(Krupp Treibstoff Werk Gmbh, Essen)ハ二千萬麻ノ自己資本ト一千萬麻ノ社債トニ依ッテ事業ヲ始メル由テアル。

因ミニ、クルップ會社ハ一九一七年以後十四年振リニ始メテ四分ノ配當ヲナシタ。

(四)エツセン石炭會社化學工場ノ一千萬麻社債

エツセン石炭會社ニ依ッテ設立サレタ「エツセン石炭會社化學工場」"Chemische Werke Essener Steinkohle AG." ハ、一千萬麻ノ五分利社債ヲ買出シタ。本社債ハベルリン、フランクフルト、デユッセンドルフノ各取引所ニ於テ上場サレ、既ニ全部取引カ成立シタ。

第二章　獨逸新四ケ年計畫ノ意味スルモノ

◎原料計畫ト Motorisierung（1937.1.15）

はしがき

ミユンヘンノヴエーアリン氏（T. Werlin　）ハ、雜誌「四ケ年計畫」ノ第一號ニ於イテ「原料計畫ト Motorisierung」ト題スル興味深キ論文ヲ發表シタリ。左ニ揭クルハ、其ノ內容ノ梗概テアル。

ヒットラー總統ハ、既ニ政權獲得前ニ於イテ、動力交通機關ニ對シテ深甚ナル關心ヲ寄セテ居ッタ。獨逸ノ經濟的進歩ニ於ケル其ノ決定的重要性ノ故ニ、動力化（Motorisierung）ハ、新四ケ年計畫ニ於イテモ、本格的ナ進展ヲ示ステアラウ。其ノ最大ノ部分的任務ノ一ツハ、獨逸ノ動力交通經濟ヲ、國内ノ建築材料、燃料テ賄ッテ行クト云フコトテアル。

ヒットラー政府ハ、此ノ爲メニ、不屈ノ努力ヲ注イテ來タノテアルカ、新四ケ年計畫ハ各方面ニ於イテ、既ニ始メラレタ仕事ヲ綜合シ、其ノテンポヲ早メ、之ヲ完結ニ導クテアラウ。獨逸ハ、既ニ、合成ベンヂンー或ハ、國内ノベンヂン、獨逸ノベンゾール、及ヒ獨逸ノアルコールノ混合物ーヲ持ッテヰル。此ノ合成ベンヂンハ、天然ベンヂンヨリハ、能率的テアリ、性質ニ於イテ、ヨリ不變的テアル。

獨逸ハ、一九三五年ニ於イテ二百万噸ノ輕油ヲ消費シタカ、其ノ中、九二五〇〇〇噸即、四五%ハ、國内テ自給サレタ。此ノ輕油ニ於ケル自給割合ハ、毎月漸增ノ趨勢ヲ辿ッテ居ルカラ、獨逸ハ、十五ケ月以内ニ、輕油ノ全消費ヲ、國内テ自給スル樣ニナルテアラウ。

最近ディーゼルモーターハ、ヨリ経済的テアル爲メ、益々、重要トナッテ來タ。此ノディーゼルモーターノ動力油ハ、數ケ月前マデハ、殆ト全部カ、外國カラノ輸入ニ依ッタノテアル。

然ルニ最近數ケ月間ニ於ケル經驗ニ徴シテ、此ノ燃料分野ニ於イテモ、獨逸ハ自給出來ル事カワカッタノテアル。幸ヒ、獨逸ハ、各種ノ自然原料ー石炭、褐炭、泥炭等ーヲ持ッテキルカラ、燃料生產者ト、モータ工業トノ緊密ナル聯絡ノ下ニ、トウ云フ燃料ヲ使用シテモ差支ノ無イ樣ナディーゼルエンヂンカ出現スル　至ルノモ遠イ將來ノ事デハナイテアラウ。此ノ方向ニ於ケル發展ハ、タタニ、國內ニ於イテ重要テアルハカリテナク、輸出ニ取ッテモ、極メテ重要テアル。

最後ニ、獨逸ハ、年年、五〇万噸ノ鑛油ヲ生產シテキル。此レニ依ッテ、ベンヂント塗油トカ供給サレル。

此ノ鑛油ノ產額ハ如何ニ重要テアルトハ云ヘ、將來ニ於ケル獨逸ノ動力經濟ノ基礎ヲ爲スモノハ、炭テアラウ。此レハ、強チ、獨逸ニ限ッタ事テハナイ。英國モ既ニ、石炭ニ依ッテ燃料自給ヲハカリッツアル。

佛蘭西、伊太利、日本、更ニハ、アメリカ迄カ、獨逸式ノ石炭液化法ヲ採用シテ居ルー一見、無盡藏ナルカニ思ハレル世界ノ石油埋藏量カ、事實上、殘少クナリッツアル事ハ否定出來ナイテアラウ。獨逸ノ經濟的獨立ヘノ發展ハ、タタニ、時代ノ要求又ハ、現在ノ爲替缺乏ノ結果テアルハカリテナク、獨逸カ、現代人及ヒ、次ノゼネレーシヨンノ爲メニ、一擧ニ解決スヘキ課題テアル。

獨逸ハ、既ニ、大量ノ合成ゴム（ブナ）ヲ生產スルニ至ッタ。設備ノ費用カトレタケ澤山カカッテモ、ソンナ事ハ今ノ場合、問題テハナイ、又アッテハナラナイ。技術的ニハ問題ハ解決サレテ居ル。最近ノ自動車展覽會ニ於イテ、合成ゴムノブナヨリ成ルタイアート、自然ゴムノタイヤーヲ持ッ二臺ノ自動車ヲ一万粁走ラセテ、其ノ性能ヲ檢査シタ所、合成ゴムノタイアーハ、其ノ摩損ノ程度ニ於イテ、ハルカニ、天然ゴムノタイヤーヨリハ小テアッタ。今日、獨逸ハ、更ニ一歩ヲ進メテキル。合成方法ハ改良サレタター就中、合成方法ハ、ヨリ廣イ經濟的基礎ノ上ニオカレルニ至ッタ。

而シテ其ノ價格ハトレ位テアルカ。

生產品ハ、ソレカ試驗期間ニアル間ハ、生產費カ高クツクモノテアル

●例ヘハ、アルミニユームハ、久シク金ヨリハ高價テアッタ。又、一瓩ノ望素ヲ生產スルニハ、一九一三年ニ於イテ、尙、一三瓲ヲ必要トシタカ、今日テハ、數片ヲ要スルニ過キナイノテアル。

然ラハ、次ニ、金屬ハトウテアルカ。事情ハ、石油ノ場合ト同樣テアル。卽チ、カツテハ、無盡藏ト思ハレテキタ金屬モ、遠カラス、ナクナツテシマフカモ知レナイノテアル。

例ヘハ、クローム、鉛、錫ノ如シ。

金屬ハ合成的ニ作リ出ス事カ出來ナイ。然シ乍ラ、二樣ノ方法ニ依ツテ、此ノ缺陷ヲ補フコトカ出來ル。卽、先ツ、獨逸ニ於ケル樣ナ所謂「貧鑛」ヲ再ヒ利用シ、其ノ採鑛方法ヲヨリ經濟的ニスル、次ニハ、屑（古品）ヲ再ヒ利用スル長イ目テ見レハ金屬ノ場合ニハ、新シイ合金方法ヲ發見シナケレハナラナイ。此レニ依リ「貴澤ナ合成原料」（Luxus-Monkatone）ヲ使用シナイテ、從來ト同シ效果ヲアケル事カ出來ルテアラ

ウ。

此ノ領域ニ於イテモ、進歩ハ、抵止スル所ヲ知ラナイ。技術家ハ錫無キ合金ヲ發見スルニ至ッタ。夫レハ、白金屬ノ合金ヨリハ、抵抗力カ強ク、且ッ、外部カラノ刺戟ニ對シテ、ヨリ敏感テナイ。又、最近發見サレタ鋼處理法ニ依レハ、クローム及ヒニッケルノ使用ヲ少クスルコトカ出來ル、或ハ、全然、無クスルコトカ出來ルノテアル。

技術上ノ革命カ、金屬ノ代リニ、新シイ合成原料ヲ使用スル事ニ依ッテ齎サレル。先ッ第一番ニ合成ゴムカ有ル。カッテハ、石炭化學ノ廢品テアッタカ、今日テハ、貴重ナル原料トナッテ居ル。合成ゴムハ、高壓ト加熱トニ依ッテ、之ヲ壓縮スルコトカ出來ル。今日合成ゴムカラ作ラレタ Volks-Empfaengerト稱スルラヂオ受信機ノケースハ、合成ゴムヲ使ッテ居ル。電話ノ受話機、ゲースモ合成ゴムヲ使ッテキル。鉛筆削リ、灰皿、ペン軸、煙草ノパイプー何レモ、合成ゴムヲ使ッテ居ル。

合成ゴムハ酸化シナイ。合成ゴムハ、加工ニ便テアリ、天候ノ影響ヲ受ケナイ。塗抹ヲ必要トシナイー結局ニ於イテ、合成ゴムハ其ノ他一切ノ既知ノ合成原料ト比較シテ、ヨリ經濟的テアル。

代用品ト云フ言葉ハ、此ノ合成原料ニハアテハマラナイ。其ハ、全ク新シイ創造テアリ、技術ノ進歩ヲ意味シテ居ル。勿論、此ノ新秩序ト轉換ハ、一朝一夕ニシテ、實現サレルモノテハナイー原料計畫カ完成スル爲メ四ケ年ノ月日カ見込マレテ居ルノテアル。此ノ點カ戰時ノ代用品經濟ト異ル所テアル。卽、大戰ニアッテハ、最短期間內ニ遮二無二缺乏セル原料代用品ヲ作ラネハナラナカッタノテアルカ、今日國家ハ、高度ノ發達ヲ遂ケタ科學ト技術トヲ動員スルコトニ依リ、長期ノ發展ヲ誘導スルノテアッテ、此レニ依ッテ、獨逸國民經濟ノ獨立カ實現サレルハカリテナク。同時ニ技術的進歩ヲ促シ、經濟的更生ヲ高メル事カ出來ルノテアル

此ノ事カ實現スル迄ハ、獨逸ハ、出來ルタケ、アルモノテ間ニ合ハセテ行カナケレハナラナイ。動力化ノ分野ニ於イテ、此ノ事ハ、燃料及ヒゴムノ貴澤ナー無クトモ濟マサレルー消費ヲ一時制限シナケレハナラナ

イ事ヲ意味スル。動力化ノテンポカ、新原料工業ノ建設ノテンポヨリ早カッタ事ヲ忘ルヘキテ無イ。

獨逸經濟ハ今ヤ、重大ナル任務ヲ負ッテ居ル。四ケ年計畫ハ、獨逸經濟カ、十ト一トカラ成立ッテ居ルハカリテナク、國家ノ利益カ之ヲ要求スル場合ハ、國民社會主義的ナ思想財カ、自己ヲ貫キ通スモノテアル事ヲ證明スルテアラウ。國民社會主義ヲ通シテ、獨逸經濟ハ强固トナリ、今ヤ、全体ニ對スル、國家ニ對スル義務ヲ履行スルコトカ出來ルト而シテ、此ノ義務コソハ、株主ノ利益ヨリハ强イノテアル。

最後ニ、新四ケ年計畫ハ商工經濟ノ構成ニ生キタ生命ヲ吹キ込ム恰好ノ機會テアル。

蓋シ、經濟ハ、凍結セル組織、澁滯セル官僚政治ニ依ッテ支配サルヘキテハナク、自由ナル創造力ヲ通シテ、大事業ヲ完成シナケレハナラナイカラテアル。

(一)　獨逸食糧問題ノ構造

原料四ケ年計畫ノ埒内ニ於イテ、獨逸ノ農業ハ、食糧ノ基礎ヲ擴大スル事ニ不退轉ノ努力ヲ續ケテ來タ。最近四ケ年間ニ於イテ、獨逸ハ、七%タケ、農業生活ヲ增大スル事ニ成功シタ。ソレニモ拘ラス、全ク、外國ノ世話ニナラナイテ、獨逸人ヲ食ヘサセル事ハ出來ナイ。ソレハ、獨逸ノ地質ヤ氣候カ、農業ニ取ッテ、理想的テナイカラテアル。此ノ自然的惡環境ヲ全ク無クスル事ハ、不可能テアル。ソレテモ、獨逸ノ食糧經濟、優ニ八〇%迄ハ、外國ノ世話ニナランテヤッテ行ケル。此ノ事ハ、然シ乍ラ、一切ノ農產物ノ中、八〇%ハ、國內テ、後ニ二〇%ハ、外國カラ輸入サレルト云フ意味テハナイ。或ル種ノ農產物ニ於イテハ、八〇%以上ヲ自給シテ居ルカ、又、他ノ種ノ農產物ニ於イテハ、二〇%以上、外國ニ依存シテ居ルノテアル。

一般的ニ見テ、植物性食糧手段ハ、食糧品需要ニ對シテ問題トナル限リニ於イテ、獨逸國內ニ於イテ、充分ニ、生長スルヲ或ハ培栽スル事カ出

來ルカラ、此レヲ以テ、全需要ヲ充ス事カ出來ル。然ルニ動物性食糧手段ニ於イテハ、事情カ異ッテ居ル。動物性食糧手段ハ、植物性ノソレ程、潤澤テハナイノテアル。此ノ事ハ、一ヘクタールノ當リノ生產量ニ依ッテ說明サレル。卽、一ヘクタールニ就キ、蔬菜ナラハ、二〇〇DZカラニ二〇DZヲ（DZーニチエントナー「一一〇〇キロ」）、馬鈴薯ナラハ、約一二〇DZヲ、穀物ナラハ一二DZカラニ〇DZ以上ヲ、砂糖ナラハ四〇DZヲ、豚肉ナラハ、約二DZ、牛肉ナラハ、一。二DZカラニDZ、バターハ僅カニ、一DZシカ取レナイノテアル。換言スレハ、食糧經濟ニ於イテハ、生產物ト比較シテ、加工過程ニ、割合多クノ費用カ、カカルノテアル。故ニ出來得ル限リ、動物性食糧カラ、植物性食糧ニ轉換スル必要カアルノテアル。

食糧關係ニ於イテ、獨逸カ現在一番困ッテ居ルノハ、脂肪經濟テアル此處テハ、國內自給ノ%ハ、部分的ニハ著シク八〇%ヨリ低イノテアル。景氣研究所ノ計算ニ依ルニ、脂肪總消費額ニ對スル國內生產ノ割合ハ二〇%ト二五%トノ間ニ有ルカ、脂身及ヒ獸脂ハ、全体ノ六〇%カラ七

ロシヲ、酪農生産物ハ、約ヘロシヲ自給シテ居ル。即、脂肪經濟ノ分野ニ於イテハ、今日、尚著シク、外國カラノ輸入ニ俟タナケレハナラナイノテアル。然シ乍ラ獨逸ノ國民經濟ヲ堅固ナル地盤ノ上ニ築キ上ケルニハ、出來ルタケ、外國ノ世話ニナラヌ樣ニ努メナケレハナラナイノテアル。ナルヘク外國ノ世話ニナラヌ爲メニハ、先ツ、生產側面ニ於イテ不退轉ノ怒力ヲ示サナケレハナラナイ。即、獨逸ノ農業ハ、脂肪經濟ノ分野ニ於イテ、一九一三年トニ比較シテ、約一三。一%タケ、生產ヲ增大スル事ニ成功シタ。一九一三年ニ於ケル油及脂肪ノ總生產額ハ、ヘ三四〇〇〇噸テアッタカ、今日ハ、約九四三〇〇〇噸ヲ自給シテ居ル。最近、外國飼料ノ輸入ノ減退セル事實ニ鑑ミルトキ、將來ニ於イテ、增產ノ爲メニ、更ニ一段ノ努力ヲ爲ス必要カアル。又、飼料用ノ油糟ノ輸入カ、一九三六年ノ二千三百万噸カラ一九三六年ノ百万噸ニ減少シタハカリテナク、油種子ノ輸入カ減少シタ事ヲモ考ヘナケレハナラナイ。野生飼料及ヒ、所謂 Zwischenfrucht （空豆、豌豆、アカツメ草ノ如ク、二ツノ主穀物ノ間ニ栽培サレル中間植物）ノ栽培ヲ盛ンニスル事ニ依ッテ、飼

料ノ缺乏ヲ補ハナケレハナラナイ。脂身及獸脂モ近キ將來ニ於イテハ、急激ニ其ノ生產ヲ增大スル事ハ望マレナイ。蓋シ、ココテモ、外國飼料ノ輸入ハ、厖大ナ額ニ上ッテ居タカラテアル。飼料用馬鈴薯ノ栽培ヲ旺ニシ、火酒ノ釀造ヲ制限スル事ニ依ッテ、此ノ缺乏ヲ補ハナケレハナラナイ。

動物性脂肪ノ生產ト並行シテ、油種子ノ栽培面積ヲ增加スル事ニ依ッテ、植物性脂肪ノ生產ヲ旺ニシナケレハナラナイ。油種子ノ栽培面積ハ、最近、約一〇〇〇〇〇ヘクタールカラ一〇四〇〇〇ヘクタールニ增加シテ居ル。此以上、油種子ノ面積ヲ增加出來ルニシテモ、ソノ程度ハ比較的小テアラウ。蓋シカクスル事ニ依ッテ、他ノ植物ノ栽培面積ヲヘラサナケレハナラナクナルカラテアル。

ソレニシテモ新四ケ年計畫ノ完成ノ曉ニ於イテハ、此ノ分野ニアッテモ、相當見ルヘキ成果カ擧ケラレルテアラウ。最後ニ、獨逸ノ捕鯨業ハ今後、益々重要ナル脂肪源トナルテアラウ。

以上、生產側面ノ整備ト相俟ッテ、消費側面モ適度ニ調節シテ行ク必

要カアル。先ツ第一番ニ、脂肪ノ消費ヲ調節シナケレハナラナイ。戰前ニ於ケル脂肪消費ハ、今日ヨリハ、ハルカニ少カツタト云フ事實ヲ顧ミルナラハ、此ノ事ハ決シテ、無理ナ註文テハナイノテアル。景氣研究所ノ計算ニ依ルト、戰前ニ於ケル人口一人當リ脂肪消費額ハ、一八。四瓦テアツタカ、一九三二年迄ニハ、二六。三瓦ニ增加シ、一九二六年ニ於イテハ、尙、二二瓦テアル。卽、一九三一年ト比較シテ、脂肪ノ平均消費額ハ、約二五%タケ增加シテ居ルノテアル。此ノ脂肪消費カ增加シタ主ナ理由ハ、營養方法カ著シイ變化ヲ示シタ事ニアル。此レハ、獨逸空間ノ現狀ヲ無視シテ起ツタノテアツテ、獨逸空間ノ現狀ト調和サセル事ニアルラシイ。此ノ事ハ何モ脂肪タケニ限ツタ事テハナク、生活ノ各方面ニ於イテ、國民ハ新ナル目的ヲ達成スル爲メ、多大ノ犧牲ヲ覺悟シテ居ナケレハナラナイノテアル。勿論、營養方法ヲ變更スル事ハ、一朝一夕ニシテ出來ル事テハナク、徐々ニ行ハナケレハナラナイ。カクスル事ニ依ツテ、原料輸入ノ爲メノ爲替割當額ハ、ソレタケ增加スルテアラウ。

含水炭素ト脂肪ハ、代替的テアルカラ、此ニ依ッテ、食糧轉換ノ仕事ハ幾分、樂ニナルテアラウ。

要之、生産關係ニ適應シテ、食糧經濟ヲ轉換スルニ當ッテハ、消費側面ニ、多クノ可能カ存スル。勿論此ノ場合、消費者ハ、强制サルヘキテナク、國民ニ對スル義務意識ニ出發シテ自發的ニ新四ケ年計畫ヲシテ有終ノ美ヲ濟サシメナケレハナラナイ。

(二) 獨逸ニ於ケル農產原料供給ノ狀況

農業的ニ生產サレル工業用原料ハ、本來、食糧經濟ノ分野ニハ屬シナイノテアルカ、此ノ農產原料ハ、經濟生活ニ於イテ普通人カ考ヘルヨリ重要ナ役割ヲ演シテキルノテアル。元來、第二次四ケ年計畫ノ任務ヲ達成スヘク、約束サレテ居ルハ、ハルカニ重要ナ役割ヲ演シテキルノテアル。元來、第二次四ケ年計畫ノ埒內ニ於イテ、農業ハ、二ツノ任務ヲ達成スヘク、約束サレテ居ル。卽、第一ノ任務ハ、食糧自給テアリ、第二ノ任務ハ從來大部分、外國カラ輸入サレテ居タ工業用ノ農產原料ノ中必要缺クヘカラサルモノヲ、出來ルタケ、獨逸國內テ供給スルト云フ事テアル。

工業的加工ニ必要ナ最モ重要ナ農產原料ハ、景氣研究所ノ週報ニ依レハ、脂肪性植物ヲ除ケハ、纖維性植物ー黃麻、大麻、亞麻、棉花等ニー人造纖維ー人絹、ステープルファイバー（Zellwolle）ー動物性纖物原料ー羊毛、絹糸ノ如キー最後ニ、所謂、硬質纖維ーマニラ麻ノ如キーヲ以ッテ其ノ主ナモノトスル。

以上ノ外、皮（動物性ト植物性トヲ含ム）冠毛、刺毛、建築用材、鞣皮材料、色素、樹脂（及ヒ、其ノ加工生產物タルゴム、テレピン）ノ如キモ、農產原料テアル。

以上ノ農產原料ノ中、最モ多ク、輸入サレルモノハ、纖維材料、脂肪性植物、皮、材木及樹脂テアル。鞣皮材料、カセーン、ペクチンノ如キ農產原料ハ、其ノ輸入サレル分量ニ於イテモ、金額ニ於イテモ、前者トハ比較ニナイ程少イカ、工業的加工過程ニ於イテ、樞要ノ地位ヲ占メテ居ル（例ヘハ、皮革製造ニ於ケル鞣皮材料ノ如キ）。ソレハ、工業的生產ヲ續行スル上ニ於イテ、絕對的ニ必要テアル。夫ナクハ、全生產ハ、休息ノ止ムナキニ至ルテアラウ。

◎農業原料供給ニ於ケル對外的依存

對外的依存ノ最モ強イ農產原料ハ、油種子、脂肪性植物、從ッテ又、植物性脂肪、油精、纖維性材料（羊毛、黃麻、大麻、棉花ノ如キ）其ノ他、氣候風土ノ關係カラ、獨逸テ生產スルコトノ出來ナイ一切ノ原料テアル。此レニ屬スルモノトシテハ、天然ゴム、及ヒ其ノ他ノ樹脂ー例ヘハ、テレビン、セラック（假漆ノ原料トナル樹脂）ノ如キー其ノ他各種ノ鞣皮材料ーケブラコホルツノ如キーカアケラレル。

獨逸ニ於ケル繊維原料ノ供給現況
（平準的消費量）

原料	消費総額（単位 1000噸）	輸入	國内生産	國内供給%
羊毛	一六〇	一四五	一五	九%
亞麻	四五	一五	三〇	六七
大麻	三五	三〇	五	一四
黄麻	一一〇	一一〇	—	—
本來ノ硬質繊維	八〇	八〇	—	—
其ノ他ノ硬質繊維	四〇	四〇	—	—
棉花	三六〇	三六〇	—	—
絹糸	一〇	一〇	—	—
人絹	五二	二	五〇	九六
スーフルフアイバー（Zellwolle）	七〇	—	七〇	一〇〇
繊維原料全体	九六二	七九二	一七〇	一八%

油種子及脂肪性植物	一四五〇	一三三〇	一二〇	八
其ノ内 (a) 國内ニ於イテ生産可能：				
菜種	一〇〇	五	九五	九五
亞麻仁	二七五	二五〇	二五	九
(b) 國内ニ於イテ生産不可能：				
大豆 コプラ（乾シタ椰子ノ果心） 球根等	一〇七五	一〇七五	一	一
油糟	一三〇〇	一二二五	七五	六
植物性脂肪	六〇〇	五五五	四五	八
材木（單位百万立方米）	四五	一一	三四	七六
Holzzncker	二〇	一	二〇	一〇〇
アルコール	三〇〇	〇	三〇〇	一〇〇
其ノ内 飲料用	四五	〇	四五	一〇〇
燃料用	一七〇	一	一七〇	一〇〇

ゴム	七五	七〇	五	七
グッタペルチヤゴム	四	四	一	一
樹脂、セラック、等	八〇	七七	三	四
其ノ内 テレビン樹脂	六五	六五	〇	〇
冠毛	一一	七	四	三六
刺毛	五	一	四	八〇
腸詰ノ皮	一五〇	二五	一二五	八三
牛皮	二二五	一二〇	一〇五	四七
犢ノ皮	四六	二四	二二	四八
其ノ他ノ獣皮	四九	二六	二三	四七
獣皮全体	三二〇	一七〇	一五〇	四七
カセーン	四〇	二〇	二〇	五〇
鞣皮材料 :	二〇〇	一八〇	二〇	一〇

ホップ	煙草	蚕蛾	植物性蛾	コルク	薬種
八	一二〇	一	一	四〇	五四
〇	八五	一	一	四〇	一八
八	三五	〇	〇	〇	三大
一〇〇	二九	〇	〇	〇	大七

物、國内ニ於イテ生産不可能ナル原料ヲモ含メテ、一切ノ農産原料ニ於ケル國内ノ自給割合ハ、上表ニ依ッテ、約□□%テアル。

○國土狭少ノ嘆

従來、外國カラ輸入サレテ居タ農産原料ヲ自給スルニハ、一千六百万ヘクタールヲ下ラサル土地カ必要テアラウ。獨逸ニ於イテ、現在、農業的ニ利用サレテ居ル土地ハ、ニ千九百万ヘクタールニ過キヌ。以上二ツノ數字ハ、新四ケ年計畫ノ農業部面ニ於ケル任務、困難ノ規模ヲ認識セシメルニ充分テアル。

一千六百万ヘクタールト云フ數字ヲ算出スルニ當ッテハ、獨逸國内テ栽培不可能ノ農産原料ヲ除外シテ居ル。此ノ種ノ自然原料ノ例ヘハ、天然ゴムーノ不足ヲ補フニハ、新シイ合成原料ー例ヘハブーナーヲ生産シナケレハナラナイ。此ノ合成原料ヲ計算ニ入レルト、必要ナ土地ノ面積ハ上ノ數字ヨリ大キクナル筈テアル。

○二ツノ方法

生産ヲ改善シ、增加シ、生産物ヲ合目的的ニ利用スル事ハ、農産原料

自給ノ進ムヘキ最高目的テアル。一九三四年秋ノ「生産戦」ハ生産ノ増加ヲ目的トシタ。生産物ヲ合理的ニ利用スルニハ、都市、農村ニ於イテ積極的ナ啓蒙活動ヲ展開シナケレハナラナイ。

此ノ啓蒙活動ハ、特ニ、合理的ナ消費指導及ヒ、所謂「濫費戦」(Kampf gegen Vergeudung)ヲ含ム。(推算ニ依ルニ、年年一五億麻ノ価値カ、濫費サレテ居ルト云ハレル)。

生産技術的ニ見レハ、農産原料問題ヲ解決スルニハ、二ツノ方法カアル。

(1) 新方法、機械ノ使用、人造肥料、土地改良等ニ依ル農業生産ノ増大

(2) 一切ノ有機ノ廃物ヲ利用スル。

例ヘハ、木性ガスヲ得ルタメニ、木屑ヲ利用スル。